

# 岡歯会報



HEADLINE:

2024  
**12**  
vol.935

巻 頭 言

「雑感」

一般社団法人 岡山県歯科医師会 監事 村上昌之 <p 1>

県歯報告

第3回 「本会と連盟のあり方」検討委員会 議事録 <p 3>

県歯報告

「すごいよ!みんなの歯」優秀動画作品表彰式 <p 9>

おかやま新発見 紹介します! 私の地区のとおき♡

浅口歯科医師会 <p 31>



一 般  
社団法人 岡山県歯科医師会

## 目次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 巻頭言 「雑感」……………一般社団法人 岡山県歯科医師会 監事 村上 昌之 | 1  |
| 彰 第45回 全国歯科保健大会                       | 2  |
| 本学会館使用について (お知らせ)                     | 2  |
| — 歯科医師国保組合 休所のお知らせ —                  | 2  |
| 県歯報告 第3回 「本会と連盟のあり方」検討委員会 議事録         | 3  |
| 日本歯科医師会選挙人抽選会について (ご報告)               | 8  |
| 「すごいよ！みんなの歯」優秀動画作品表彰式                 | 9  |
| 新入会員セミナー                              | 10 |
| 理事会ダイジェスト                             | 11 |
| ホームページインデックス                          | 17 |
| マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー (244)            | 17 |
| 11月の歯科界トピックス                          | 18 |
| 社会保険部 第15回 社会保険部検討委員会報告               | 19 |
| 令和6年度 新入会員社保研修会                       | 20 |
| 学術部 日歯生涯研修セミナー                        | 20 |
| 令和6年度岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会                 | 22 |
| 「沢教授の口腔解剖学ハンズオンセミナー」                  | 24 |
| 年末年始の休館のお知らせ                          | 24 |
| 公衆衛生部 第88回全国学校歯科保健研究大会                | 25 |
| 第48回 中国地域口腔公衆衛生協議会                    | 26 |
| 「令和6年度 訪問歯科研修会」開催について                 | 27 |
| 医療管理部 開催案内 第6回DHスキルアップセミナー            | 28 |
| 開催案内 令和6年度歯科医療安全研修会                   | 28 |
| 医療管理ニュース Vol.98 生き抜くための災害対策           | 29 |
| 厚生部 令和6年度 レクリエーション大会ご案内               | 30 |
| おかやま新発見 紹介します！私の地区のとおき♡ 浅口歯科医師会       | 31 |
| 地区歯科医師会だより 倉敷歯科医師会                    |    |
| 令和6年度「障がい者歯科診療トレーニング・セミナー」のご案内        | 32 |
| 吉備歯科医師会 第16回吉備路お口の健康まつり               | 33 |
| 玉野歯科医師会 玉野市歯科医師会ランチプロジェクト             | 34 |
| 真庭歯科医師会 ユニバーサルスポーツフェスティバル2024         | 35 |
| 児島歯科医師会 お口の健康フェア2024 歯ッピータウン in 児島    | 36 |
| リレー随筆 弾幕薄いぞ！何やってる！西木戸 博史 (倉敷歯科医師会)    | 37 |
| 学院のべえじ 岡山県立岡山南支援学校の実習報告               | 38 |
| 令和6年度学院同窓会総会                          | 40 |
| 新入会員紹介                                | 41 |
| 会員異動                                  | 41 |
| 12月の収納金                               | 42 |
| 10月 会の動き                              | 42 |
| 12月・1月 本会の予定                          | 43 |
| 12月・1月 地区歯科医師会の予定                     | 44 |
| こちら編集室                                | 45 |

<https://www.oda8020.or.jp>

■題 字 小林 敏郎 先生

■表紙作品 「瀬戸大橋と沈むオリオン座」 岡山市歯科医師会 塩津 比佐夫 先生

冬の星座で有名なオリオン座と瀬戸大橋、航跡のコラボです。



## 「雑感」

一般社団法人 岡山県歯科医師会

監事 村上昌之

現在、世間では少数与党の政局となり、政策決定も野党の顔色をうかがいながら右往左往して、すんなり進まない状態である。そして自民党は、自民党派閥の裏金事件の問題で国民から鉄槌を下されたが、はたして襟を正して再生できるのだろうか。この様な現状では将来に対しても期待ができないように思われる。

一方、我々の歯科界においても、保険証を廃止して、マイナ保険証への移行を拙速に、強権的に進められてしまった。この事が医療現場にどのような混乱を招くか、全然議論されることなく進められたのである。

また、令和6年度の診療報酬改定においても、その流れの中で行われたように思われる。政府内でも、マイナ保険証については、異なる意見があるように思われるが議論の対象にもならない。また、今回の診療報酬改定は、非常に複雑で、私達にとっては、理解が難しいものとなっている。その一つが、スタッフの賃金アップをするための、複雑な設定の「ベースアップ評価料」だ。これまでの改定では行われたことがない事が行われた。

最近、保険診療において、非常に「しばり」が多くなり、窮屈になり、医師の裁量権が少なくなったように思われる。このように政治の世界でも、我々の歯科界においても、将来に希望が持てないのが現実である。

現在、岡山県歯科医師会では、「本会と連盟のあり方」について、検討が行われている。主体性と組織力を持ち、“もの言う歯科医師会”として、日本歯科医師会を支えるという気概をもって望むという目的であろうと思われる。これによって、色々な課題に対して少しでも良い方向に向かえばと期待している。



## 第45回全国歯科保健大会

### 厚生労働大臣表彰

木村里栄先生（岡山市歯科医師会）

### 日本歯科医師会会長表彰

倉田庸生先生（岡山市歯科医師会）

（一社）岡山県歯科衛生士会

11月2日(土)第45回全国歯科保健大会に於いて「令和6年度歯科保健事業功労者 厚生労働大臣表彰」及び「令和6年度日本歯科医師会会長表彰」を上記の方々が受賞されました。

ご受賞を衷心よりお祝い申し上げ、今後益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

## — 本会会館使用について（お知らせ） —

令和7年1月より、月曜日の会館使用は午後6時迄といたします。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力下さいますようお願いいたします。

## — 歯科医師国保組合 休所のお知らせ —

令和7年1月から、「全国歯科医師国民健康保険組合就業規則 第39条第一項」により、土曜日・日曜日を休所とさせていただきます。御不便をお掛けいたしますが、ご了承くださいますようお願いいたします。

## 第3回 「本会と連盟のあり方」検討委員会 議事録

日時：令和6年10月7日(月) 20:00

場所：本会会館 7階 701会議室

|     |        |             |
|-----|--------|-------------|
| 出席者 | 委員長    | 大森 潤 (倉敷)   |
|     | 副委員長   | 皆木 克朗 (津山)  |
|     | 委員     | 杉山 真一 (岡山市) |
|     |        | 浜崎 健介 (岡山市) |
|     |        | 佐藤 公平 (岡山市) |
|     |        | 沼本 潤一郎 (児島) |
|     |        | 白神 佳樹 (玉島)  |
|     |        | 山本 道代 (都窪)  |
|     | オブザーバー | 南 哲之介       |

### 1.開会【大森委員長】

頭を整理するのを兼ねて議事録から内容をまとめたものを皆さんに事前にお配りしています。手際よく進めてまいりましょう。

### 2.報告

大森委員長が作成した資料をもとに『前回まででコンセンサスを得られた内容』と『再度協議が必要な内容』に分けて、前回までの確認を行った。

#### 【前回までにコンセンサスを得られた内容】

#### (1) 新規入会者へのアプローチ

1. 歯科医師会入会の際の地区会長署名の時に地区として必ず連盟の意義を説明し、まず地区連盟に入会してもらう。その流れで順次、県歯・県歯連盟に入会してもらう。

連盟の説明は各地区会長・地区連盟評議員などが行うが、必要であれば連盟執行部から人材を派遣してもらう。

2. 連盟のリーフレットの刷新を要望する。

内容は新規入会者への説明に使えるようなものだが、新規入会員だけでなく全会員向けのものを希望する。

3. 同窓会・校友会においても誰もが入会を勧めるような、連盟の日頃からの地道な努力を期待する。

同窓会・校友会の各種イベントなどで連盟のPRの場を設ける雰囲気づくりに尽くす。

#### (2) 本会一般会員への連盟活動の意義についてのPR活動

1. 『岡歯会報』に数カ月に一度でもよいのでコンスタントな連盟コーナーを設ける。

親しみを覚えるような内容がよく、連盟だよりに誘導できるものならより意義深い。連盟だよりの『岡歯会報』への同封は、第三種郵便の関係で困難。

2. デンタルミーティングに地区長、評議員など同様のメンバーが集まることが多く、議員と接する機会をより多くの人に与えたい。目的や趣向を工夫し、折々で参加対象メンバーを変えてはどうか。若手や非会員など幅広く集める形も検討してもらう。



3. 地区連盟評議員の選出について、複数の定数を有する地区ではできるだけ多くの会員が評議員を経験するよう各地区に工夫を促す。
  4. 各地区の行事の際に連盟のPRも行うべく地区長や地区連盟評議員は心がける。必要であれば県歯連盟執行部からの派遣を受け活動報告を依頼する。
- (3) 特別に拒む意思を持つわけではない未入会者へのアプローチ
1. 特別な意思のないまま未入会となっている人に、全体向けの方策と個別の対応との両方でアプローチを試みる。
    - 強い信条の非会員へはくどいアプローチは不要と考える。

### 3. 協 議

前回までに意見が出たが明確な方向性が定まらなかった内容について協議を行いながら、本委員会の目的である執行部への答申の作成を見据えた議論を行った。

#### 【再度協議が必要な内容】

- (1) 新規入会者への具体的なアプローチ
    1. 地区連盟の入会申込書の雛形を作成し、各地区に配布して形式を整える。
      - (前回まで)
      - 県歯連盟の申込書の地区代表者の署名を削除する。
      - 地区連盟にも入会申込書を作成し、永続的な連盟入会の仕組みを整えたい。
      - 地区連盟に入会申込書があればこの機運を忘れず、入会してもらえ。
      - 具体的な会費等については県歯連盟の入会説明時に行う。
      - ・様式が地区・県歯ともに同じであれば一枚で済ませられる形は取れないか？
      - 県歯連盟の規約上、それが可能かどうか？
      - ・まずは地区で入会をアプローチする仕組みを構築したいが、その際に県歯連盟にも同時に入会できるような方法を検討してもらおう。
      - ・入会方法にQRコードを用いる方法を検討してほしいという内容とも関連する。
      - ・県歯連盟の入会を拒む場合もあるので、入会希望の方に○をつけてもらう方式をとってはどうか。
      - ・県歯連盟の入会申込書に選挙区の記入は必要か？この欄は不要なのではないか？
      - 入会申込書を簡素化して欲しいという要望をするのもあり。
      - ・地区長の署名も必要はないのではないか？
    - ⇒ 現在の県歯連盟入会申込書では、選挙区や所属地区の代表者の署名捺印が必要であるが、これらの必要性に懐疑があり最も簡素化された書式を望む。
      - 地区連盟組織と県歯連盟に一枚で入会できるような内容の申込書が望ましいと考える。なお、地区歯科医師会入会時に提示できるような形を望む。
  2. 新会員の県レベルの歓迎会を年一度行ってはどうか。県歯と兼ねた形でもよい。地区長、推薦人、同窓といった近い人同席可で。親睦し理解を深める機会を創出したい。
- (2) 本会一般会員への連盟活動の意義についてのPR活動
  1. 県歯連盟評議員会に傍聴参加は可能とのこと。これを大いに活用し促しては。
    - ・県歯連盟評議員会も県歯代議員会も事前申込すれば傍聴できる制度はあるが、これまで傍聴された方はいるのか？
    - ・新入会員説明会は皆さん参加されるので、新会員のうちに組織の勉強として、地区で一度傍

聴を勧めては？

→ 開業直後の先生は自分のことで精一杯で、会の事まで考える余裕はないのではないかと？

- ・ 傍聴者には資料はない？資料がないと聴くのは厳しい…。
- ・ 会報等で傍聴を呼びかけるのはどうか？
- ・ 傍聴は連盟会員でないとできないが、会員の先生への連盟の活動内容を知ってもらうには有効？
- ・ 傍聴とイベントを紐づける。傍聴後に地区単位で食事等の面倒を見るようなイメージ。
- ・ 一般会員向けに評議員会の報告だけでなく、開催・傍聴の案内も行った方が良い。

## 2. 県歯連盟主催の懇親会といったイベントを開催してはどうか。

具体的なイメージがあれば意見を求めたい。

※選挙が始まると飲食を伴う会合は利益供与とみなされるので開けなくなる。

- ・ 原資はあるのだろうか？
- ・ 日歯連盟からの費用負担はある程度あるが、用途は限られる。
- ・ 既存の連盟会員に向けてイベントを行って協力を求めるのと、新入会員へ向けてイベントを行って協力を求めるのとでは、効果にどの程度違いが出るのか？  
新入会員を対象にしていけば、必ず毎回違う先生が参加することになるので。
- ・ 新入会員は平均すると毎年15名程度。それに地区からエスコートする会員を含めれば、ある程度人数は絞られる。
- ・ 急遽、選挙があれば、イベントの内容によっては利益供与とみなされるため突然開催できなくなる可能性があるのでは？  
→ 本会と連盟の共催として、選挙が決まったら連盟が辞退すればよい。
- ・ 本会の30歳代・40歳代限定企画は26名参加したが、どのような雰囲気だったか？  
→ 言いたい事を言える雰囲気があって、参加された先生方は満足されていた。ただ、参加された先生方の顔ぶれを見ると平素から会務に協力的な先生が多い印象を受けた。
- ・ 新入会員を対象として、エスコート役として中間層にも参加してもらい、新入会員以外にもじわじわと連盟への理解を深めてもらう。
- ・ 連盟の執行部の先生との懇親を深めてもらう。
- ・ 評議員会の後に行うのが一番集まりやすいのではないかと。
- ・ 評議員会の後に大きな懇親会を開催する場合、評議員会、懇親会、代議員会と準備する側の負担が大きくなる。
- ・ 評議員会の後に各地区ごとに懇親会を開催するのも良いのでは？  
場合によっては、そこへ連盟役員が会場を回っていくのはいかがか？  
最初のきっかけとしては気楽な方が良いのでは？  
地区でやるのはいつでもできるのでは。
- ・ 入会同期の先生とは顔見知りになりやすく、知った顔があると参加しやすいのではないかと？
- ・ 県歯会館に新入会員を度々集めるのは遠方の先生は大変。
- ・ 新入会員が評議員会や代議員会に傍聴出席してもらうのはハードルが高い。  
それよりは説明会等の後などの集まりの後に、新入会員を対象にまとめて開催したほうが良いのではないかと？  
→ 一堂に集めるのは難しいかもしれないが、県歯連盟として新入会員に対してイベントを開

催することは連盟への帰属意識を高める効果としては大きい。

地区別でやればハードルは低く、参加は促しやすいが連盟の活動として結び付くかどうかは疑問。

⇒ できれば1～2年に一回程度、懇親会等の平らな場で、県レベルで連盟と会員が接触できる場を設けていただきたい。

(3) 特別に拒む意思を持つわけではない未入会者へのアプローチ

1. 効果的と思われる年代にターゲットを絞りアプローチしていくのもよいかも。

自分が連盟会員であるかどうかを知らない場合もあるので、この機会にまずは非会員にアンケート様の手紙を送付し、勧誘してはどうか。

- ・一度、この機会に未入会者を調べて、一度アンケート的なアプローチをしてみてもはどうだろうか？

効果的な年代もわかってくる。

また意図せず未入会のままの先生方の掘り起こしにもつながる。

- ・本会と連盟の一体化を議論している今が、どうして未入会なのか理由を知る、先生方の意見を伺うのも一度お尋ねをする非常に良い機会。

- ・メールやFAXではなく、連盟の意識、思い、趣旨を丁寧に伝えるために手紙で慎重に送るべきなのではないか？

- ・こちらの姿勢は手紙でお伝えするのが良いが、返信・回答は返信用封筒、FAX、QRコードなどいろいろな選択肢を提示する方が良いのでは。

- ・FAXだといろんな人の目に触れるのを気にされる先生もおられるのでは？

- ・この委員会ではいろいろイメージしているが、答申でそこまで具体的にはできないだろう。

- ・南専務理事がこの場にいてくださるので、どのような意見が出たか聞いてくださっているので、具体的な内容については答申書に反映できなくても、我々の思いは伝わるだろうと思う。

- ・各地区会長には未入会者のリストを一度確認のために送る。

- ・我々委員会の思いとしては大きく三つだろう。

- ①未入会の先生方にはいろいろな思いや状況があるだろうことを尊重して、一度その事情を伺うこと。

- ②連盟はただの票集めの組織ではなく国に物申すための重要な組織として取り組んでいる現状をお伝えし理解していただく努力をすること。

- ③入会のハードルを下げる取り組みをしていただきたい。

- ・支部によっては地区連盟組織にも未入会の先生がおられる。県歯連盟に入会したら地区連盟組織に自動的に入る形か、地区に入るようにまずは促していかないのか？

- ・児島歯科医師会は、支部に新しく地区連盟組織ができたことで、地区歯科医師会の全会員に新しい組織（地区連盟組織）への入会を案内し入会していただいた。

- ・地区連盟組織だけに入会している先生方は、連盟会費を払っておらず連盟だよりも届かない。地区連盟組織だけ入会している先生は実態は何もないのでは？

- ・地区連盟組織はまずはとっかかりとして、基本は県歯連盟にも入っていただくように後押しをしてもらう。

- ・地区に連盟組織ができたことをご存じない先生もいるのでは？そして連盟非会員の先生方にはそういった先生が多いのでは？



そういった先生方に入会を促していく必要があるにも関わらず、連盟組織のアナウンスが地区で十分にできていない。

- ・現在の連盟の組織構造についても丁寧な説明が必要だろう。
- ・建前として、地区連盟組織は県歯連盟の下部組織なのか、独立した組織なのか明確にしておかないと齟齬が生じる可能性がある。

※会計上、本会は支部支援金（下部組織としての扱い）。連盟は独立した他の政治団体への寄付金（独立した組織として扱い）であるという認識である。

⇒ 連盟の趣旨や活動、組織構造について丁寧に説明したのちに、未入会の先生の気持ちを聞かせていただくようなアプローチから始めてみてはいかがだろうか？返信方法については複数の選択肢を提示するのが望ましい。

その結果を受けて、連盟に協力しても良いとご返答くださった先生方には個別にアプローチしていくような二段構えで取り組んでいただきたい。

2. 県歯連盟への入会手続きには煩雑感があり簡素化を図りたい。地区長印不要の確認。QRコードで簡単に入会でき、会費納入については後日事務局から連絡。『岡歯会報』にQRコードを常時貼り付け、連盟のページや入会申込ページにアクセスできるなど。

- ・そもそも地区歯科医師会の代表者の署名捺印が必要なのであれば無理ではないか？
- ・我々としては簡素化を提言するにとどめ、その後の判断は執行部に委ねればよい。

※現在は総会の委任状等も本人の署名捺印が不要、本人の意思の確認ができればFAXやネットからでも可能（南 専務理事）

3. 医療機関に複数の連盟会員がいる医療機関について

日歯連盟では二人目から半額であるが、そうした減免処置は？

一方、非会員でありながら免除会員の家族がいて無料で恩恵を受けている場合もあり、この対応は？

- ・日歯連盟は二人目以降はすべて会費は半額となっている。
- ・医療機関ベースで考えて一医療機関に連盟会員一人を目指すのであれば、二人目以降は会費免除でもよいのでは？
- ・複数会員がいる医療機関では親子会員のケースが多いが、日歯連盟は一人目が会費免除となった場合、二人目は自動的に満額負担になる。
- ・日歯連盟に倣えば良いのでは。
- ・同一医療機関、二人目以降の減免処置を検討していただく。
- ・本会でも同様だが現実的な問題が二つある。

①同一医療機関でも、複数の歯科医師がそれぞれ入会しており、連盟日より、選挙協力等の依頼が複数人分届くのが煩わしいというケース。

②開設者が免除会員となった後も会員としては継続するため、二人目以降の歯科医師は入会する必要がなく、会費負担なしにメリットを享受しているケース。

- ・減免処置には賛成だが、一人の連盟会員に対して連盟が費用負担することがあるのであれば二人目以降の会費を全額免除とすることは慎重になるべきではないか？それを受けて退会者が出たり、会計が苦しくなったりしないのか？
- ・もともとの趣旨は一医療機関ベースの連盟入会率を上げることなので、それを優先するのであれば、そこはある程度理解を求めていけばよい。

⇒ 答申書としては、県歯連盟は一医療機関に一名会費を納入する会員を有すること。それ以外の会員は減免処置（できれば会費免除）という形を検討していただきたい。

4. 自然と入会率が上がることが理想。熱意とともに懇親を深める活動が大切。

【大森委員長】

これまでの委員会で出たアイデアについては議論できたのではないのでしょうか。とりとめのない話になった感じもありますが、これら以外に何かありますでしょうか？

次回までに、私がこれまでの話をまとめた答申書の素案を考えてきますので、それをもとに修正を行う予定とします。

## 日本歯科医師会選挙人抽選会について（ご報告）

日本歯科医師会選挙人を公募したところ、県下より30名の応募があり、定員を超えた為、10月24日(木)午後8時より選挙管理委員会萩原委員長、土屋副委員長の立会で本会会館もも丸ホールにて抽選会を開催しました。

応募者30名中25名の参加で抽選会を執り行い、8名が当選されました。日歯代議員を含め、下記の通り決定致しましたのでご報告申し上げます。

| 番号 | 氏名    | 所属        |
|----|-------|-----------|
| 1  | 山本道代  | 都窪歯科医師会   |
| 2  | 石原慎也  | 岡山市歯科医師会  |
| 3  | 野崎真弘  | 瀬戸内市歯科医師会 |
| 4  | 久門田俊治 | 吉備歯科医師会   |
| 5  | 佐伯正則  | 倉敷歯科医師会   |
| 6  | 熊代直樹  | 岡山市歯科医師会  |
| 7  | 妹尾明彦  | 岡山市歯科医師会  |
| 8  | 浜崎健介  | 岡山市歯科医師会  |
| 9  | 西岡宏樹  | 日歯代議員     |
| 10 | 南哲之介  | 日歯代議員     |

(順不同・敬称略)



# 「すごいよ！みんなの歯」優秀動画作品表彰式 シリーズ2冊目「すごいよ！みんなの歯2」贈呈式

令和6年11月21日(木)14時より、標記表彰式と贈呈式が岡山県歯科医師会“もも丸ホール”にて開催されました。

## 【表彰式】

昨年発刊された「すごいよ！みんなの歯」は、子育て世代にエールを送り、楽しく気軽に読んでもらえ、為になる『歯』の知育書として大変好評を得ました。その延長としてSNS等での情報発信も視野に入れ、中国デザイン専門学校ビジュアルデザイン科の授業の一環も兼ねて、本のイラスト動画作品を作成してもらいました。

多数の作品の中で、以下の3作品が優秀として選出され、表彰式が行われました。

- |                 |                     |
|-----------------|---------------------|
| 岡山県歯科医師会会長賞     | 近藤 圭 (こんどう けい) さん   |
| 東和ハイシステム代表賞     | 内海 紗菜 (うちうみ すずな) さん |
| 山陽リビングメディア社長奨励賞 | 芳川 桃子 (よしかわ ももこ) さん |



## 【贈呈式】

シリーズ2冊目となる「すごいよ！みんなの歯2」は、日本を代表する4人の小児歯科の先生方に監修していただき、より多角的な視点を設け、さらに内容の充実したミニブックに仕上がっています。前作と同様に県下小学校、児童館、児童センター、幼稚園・保育園や主な図書館・美術館・博物館などに配布されます。

この日は、県下会員の歯科医院に配布して有効に活用していただきたいと、山陽リビングメディア小原範夫社長から県歯 西岡宏樹会長へ3,000冊の目録が手渡されました。



当日は多数のメディアの取材があり、表彰式・贈呈式の模様は夕方のOHKニュース、RSKイブニングニュース、TSCななスパ、Oniビジョンで紹介され、翌日の山陽新聞全県版にも掲載されました。

## 新入会員セミナー

令和6年11月21日(木)午後8時より岡山県歯科医師会館 もも丸ホールにて、標記セミナーが開催されました。このセミナーは、新入会員の先生方に歯科医師会やその関連団体の役割についてお伝えし、日頃抱いている疑問点や希望を掘り上げ、県歯会員が一体となる基盤を作ることを目的としています。

当日は令和4年10月1日から令和6年10月までに入会された43名の中で33名の先生方が出席され、執行部と対面形式で開催されました。



### 1. 会長挨拶 (要旨)



平素より本会へのご理解とお力添えをいただきありがとうございます。岡山県歯科医師会は、社会に対する公益、会員の権利を守る共益という相反するような使命を共存させていく組織でもあります。しかし、先生方会員に誇りと会員としての権利を享受いただくことが第一と考えています。また、先生方の生活を守るためには、強い組織力と適正な評価を得るための発信力は不可欠です。そのための連盟活動です。“強い組織力は政治を動かす”ご協力よろしくお願いたします。

今後も会員の先生方を物心両面で支え、会員益を愚直に追い求めて参る所存ですので、今後ともご理解、ご支援の程よろしくお願申し上げます。

### 2. 概要説明

岡山県歯科医師会の機構図をもとに、会の現状や活動、災害支援や会員益となる共済制度等についてできるだけわかりやすく説明が行われました。特に医療過誤や診療所内でのトラブルについては、県歯が全面的にサポートする旨をしっかりとお伝えできたと思います。

また、連盟活動についても丁寧に噛み砕いた説明がなされ、ご理解とご協力いただける感触が得られました。

情報量が膨大で、90分という短い時間では理解しにくい面もあったかもしれませんが、参加された先生方は最後まで熱心に聴講されていました。今後の県歯を支えていただける先生方の熱意を感じることができたセミナーでした。

(常務理事 中村慶男)



## 第62回理事会

令和6年10月17日(木)

### 会長挨拶 (要旨)

今の歯科衛生士を目指す学生は、4年制の大学を希望するようです。歯科衛生士にはなりたけれど、急いででなくいい。大学生として4年間キャンパスライフを楽しみたい。さらには4大卒というステータスが魅力のようです。当然我々のような専門学院が4年制にすると、さらに人が来なくなる。歯科医師会立の明確なメリットが求められます。

### 本日のトピックス

#### 【本会】

- ・ 岡山県歯科医師会機構改革について  
部会規則の改定も含めて検討、準備中。 (南専務理事)

#### 【医療管理部】

- ・ 第5回DHベーシックコース事前打ち合わせ  
実習内容がTBI, シヤープニングがメインとなるため, 統一を図るための指導員のトレーニングを実施
- ・ 医院承継問題について検討  
過疎, 中山間部ではより深刻な問題で, マッチングという踏み込んだものは難しく, 情報提供などを主体に岡大との連携も含めいろいろな方向性で検討を進めていく。 (本多理事)

#### 【公衆衛生部】

- ・ 糖尿病医科歯科連携について  
医科歯科合同の研修会は好評であった。今後, 津山や倉敷, 岡山など地域ごとでの医科歯科合同開催を目指したい。 (黒木常務理事)

### 取材を終えて

(広報部 委員 熊澤孝祐)

理事会でテーマになった医院承継について, 現在医院承継がスムーズに行われるのは約2割と聞きます。医院の立地や設備など含めて, 更に悩ましくなる問題に感じました。理事会では, 対策について様々な角度から検討をされています。今後も情報を伝えていきます。

### 理事雑感

(中村常務理事)

医療管理部が取り組んでいる事業の中に「医院承継問題」がある。最近, 若い先生方の開業が多くなった印象があったが, 岡山・倉敷周辺が多く, 中山間地域などの過疎化に直面しているところでは, 歯科医師の高齢化は深刻な問題になりつつある。「医院承継」に表立って介入することは難しく, 岡大との連携を深めながら情報提供の充実を図っていくことが主体となると思われるが, スムーズな形で地域医療が将来的に保全されることを願っている。

岡山県歯科医師会においても, 平均年齢61.9歳, 年齢中央値63歳となり, 今後の会員減少への対応は急ぐ必要があるかもしれない。

## 第63回理事会

令和6年10月24日(木)

### 会長挨拶 (要旨)

ここまで3年数か月持ち続けてきた思いがあります。我々の組織は常に様々な外圧にさらされます。それに異論を唱えても、抗い、跳ね除けることができなければ、結果として同調し迎合するしかありません。そうならないためにも、常に主体性を持ち、是々非々で自分たちの信念を訴え続ける。そんな気概のある組織でなければならないと思っております。そしてその姿勢がひいては「組織の誇り」を堅持することにも繋がります。残りの任期も強い思いを持ち臨んで参ります。

### 本日のトピックス

#### 【本会】

- ・ 障害者歯科治療。県の前向きな姿勢はあるが、予算の問題もあり対応はまだ先になる見込み。  
(西岡会長)
- ・ 事務局の新体制について  
旧福祉共済会事業は基本的に総務部で対応。  
土曜日の事務局出勤体制を4名から2名へ。来年1月より施行。  
(南専務理事)

#### 【医療管理部】

- ・ 第5回DHベーシックコース  
57名の応募があり、30名に増枠して開催。研修後のアンケートでも内容は好評を得た。特にシャープニング実習は絶賛の評価。  
(本多理事)

#### 【広報部】

- ・ 山陽リビングメディア「すごいよ！みんなの歯2」は最終校了し、印刷へ。
- ・ 来年のカレンダーを作製中。保険証関連のページも社保にお願いして検討。  
(中村常務理事)

#### 取材を終えて

(広報部 委員 皆木祥伴)

本理事会は、協議事項は比較的少なく、開催時間も短めでした。特に関心を持ったのはマイナ保険証の今後の運用についてでした。令和6年12月2日より新規健康保険証の発行が終了し、従来の保険証とマイナ保険証との混在期間が始まるため、受付業務の煩雑さが予想されます。会員、利用者双方に益のある運用が今後も行えるよう、政府には良識ある対応をしていただきたいと思えます。

#### 理事雑感

(北山理事)

気が付けば10月も終わり、年末の行事である各地区からの忘年会、新年会の臨席依頼が届いています。今年になりコロナ禍では出来なかった地区との直接対話も可能となりました。また年末までの行事予定も67項目とコロナ禍の倍近くとなっており、いかにコロナの影響の大きかったかがよく分かります。

その中で、推し進められたマイナカード、マイナ保険証。ご存知のように、12月2日から現行の健康保険証の新規発行が終了します。メリットを強調する厚労省、詳しくは知らないと戸

惑う患者さん，保険証確認で混乱する医療機関。窓口では私たちが，「マイナ保険証」「健康保険証」「資格確認書」について患者さんに説明し理解してもらわなくてはならないのか？現場での対応には懸念材料がいっぱいです。理事会でも今後の保険証等の取扱い，制度改定後の受診について会員の先生に分かりやすく説明しどの様に周知していくか検討していきます。

## 第64回理事会

令和6年10月31日(木)

### 会長挨拶（要旨）

「天網恢恢疎にして漏らさず」という言葉がありますが，今回の衆議院選挙で天網をすり抜けた方々，なぜか引っかかっている方々と様々でしたが，いずれにしろ自民党には，国民の厳しい審判が下ったという事には間違いはないだろうと思います。これは，国民の意識と大きく乖離した党内論理を最優先させ，民意をないがしろにし，強引かつ拙速に進めていった政策に対する不満の表れであり，自浄作用が見られない自民党への怒りが爆発した結果だろうと思います。決して野党に対する期待感では無く，与党に対する怒りの方が強かったものと感じております。そしてその根底にあるのは自民党の長期政権というぬるま湯の中で芽生えてきた傲慢さや慢心に他なりません。

我々の任期も残すところ8か月となりました。今一度襟を正し，初心に帰り，強い自覚と使命感を持って会務に臨んでいただきたいと思います。

### 本日のトピックス

#### 【広報部】

- ・「すごいよみんなの歯2」

校了し印刷に入っている。贈呈式が11月21日(木)に行われ，各会員に2冊ずつ配布予定。

(中村常務理事)

#### 【医療管理部】

- ・令和6年度中国地域歯科医療管理学会

「人口減少下における地域歯科医療を考える」をメインテーマに東京歯科大学社会歯科学 平田創一郎 教授の特別講演。岡山県からは「歯科助手資格認定講習会のWeb開催に関する考察」と題して角南副委員長が口演発表。

(本多理事)

#### 【公衆衛生部】

- ・岡山県歯科保健優良校審査会

県下6校(園)から調査票が届き，優良校(園)として3施設を表彰することとなった。例年，同じ学校からのエントリーになりつつあり，教育委員会や学校歯科医から各学校へ審査会参加を促してもっと注目されるものにしていきたいと考えている。

(土肥理事)

**取材を終えて**

(広報部 委員長 石井源久)

理事会自体は報告や協議等スムーズな進行であったようでしたが、理事会の1時間以上前から事務局や会議室のあちらこちらで各部理事同志が色々と打ち合わせを行っている場面や、理事会後のBCP打ち合わせ会の開催という理事会以外の理事の行動が印象に残る日でした。

**理事雑感**

(後藤理事)

12月2日の健康保険証廃止まで残り1か月となりました。ただマイナ保険証の利用率は一向に上がってきていません。政府の意向に民意がついて行っていない現状です。

保険情報の確認のための、マイナ保険証、資格情報のお知らせ、資格確認書 この3つの使い分けについて未だに患者への周知が十分なされているとは言えません。もちろん、我々医療機関としては混乱なくその日を迎えることができるよう、しっかりとした準備をしていく必要があります。社会保険部では会員の先生方に可能な限りトラブルを生じないように、しっかりサポートをしていきたいと思えます。

**第65回理事会**

令和6年11月7日(木)

**会長挨拶 (要旨)**

9月のマイナ保険証の利用率は全体で13.87%、国家公務員が13.58%。国家公務員の利用率は低い。やはりこれが民意です。デジタル大臣は「制度が変わったんだとなれば、日本の人たちの対応能力は極めて高い」と医療現場の混乱をよそに能天気なことを言っていますが、被保険者がマイナ保険証を登録しているのか、解除したのか、紐付けしていないのかを保険者がリアルタイムで把握することは困難と思われ、結局割を食うのは医療機関です。また『資格確認書』も保険者が変更となった場合は回収しないと医療機関で資格過誤が頻発する恐れがあります。受付で確認済みの過誤は容認しないとなれば審査支払機関も混乱すると思われ。現行保険証の新規発行停止を撤廃しないのであれば、保険者はマイナ保険証のあるなしに関わらず、全員に『資格証明書』を発行し、保険証が資格証明書という名前に変わったんだという認識で進めるのが一番混乱がないと考えます。

**本日のトピックス****【本会】**

- ・ 大規模災害時業務継続計画 (BCP)

大規模災害時業務継続計画 (案) は、ほぼ完成。800万円程の予算が必要になり、12月に開催される地区・本会連絡協議会と臨時代議員会で説明の上、御協議いただき、来年3月の代議員会で予算が承認されて、実行に移す見通し。

- ・ 本会学院連絡協議会

本会事務局と学院事務局との情報共有を進め、将来的には共同での運営も考慮中。

(南専務理事)



**【医療管理部】**

- ・ 歯科衛生士支援事業第18回実務者会議

「マッチングサイト」の利用率を上げるため、今後、2年程でプランを構築し、復職支援に特化した大きなイベントを考えている。ある程度形が見えてきたら報告予定。 (本多理事)

**【広報部】**

- ・ 広報部編集委員会

「すごいよ！みんなの歯2」完成し、テレビや生活情報誌『さりお』で紹介され普及中。今後は、全会員に2冊ずつ配布予定。 (中村常務理事)

**取材を終えて**

(広報部 委員 磯島大地)

6月には診療報酬改定があり、年の瀬の12月にはマイナ保険証の本格運用が開始される。私のような市井の開業医でもこの一年で状況が大きく変化し、対応に戸惑った年であった。しかし、今年から理事会の取材をさせていただき、理事の先生方のご多忙の中でも、我々会員をはじめ、また歯科界のためにご尽力されていると感じ、頭が下がる思いであった。

**理事雑感**

(理事 久門田俊治)

歯科医院におけるサイバーセキュリティ対策は、患者の大切な個人情報や診療情報を保護するため、喫緊の課題となっています。

まず初めに、自院の現状を把握し、リスク評価を行うことが重要です。具体的には、情報資産の洗い出し：患者情報、診療記録、従業員情報など、どのような情報が保管されているかを確認します。

システムの調査：医療情報システム、ネットワーク機器、端末機器など、どのようなシステムが使われているかを確認します。

セキュリティ対策の現状確認：ファイアウォール、ウイルス対策ソフトの導入状況などを確認します。

次に、リスク評価に基づいて、以下の対策を講じます。

パスワードポリシーの強化：強固なパスワードを設定し、定期的な変更を義務付けるなど、パスワード管理を徹底します。

ファイアウォールの設定見直し：不正なアクセスを遮断するため、ファイアウォールの設定を見直します。

ウイルス対策ソフトの最新化：最新のウイルス定義ファイルに更新し、常に最新の脅威に対応します。

定期的なバックアップ：万が一の事態に備え、定期的にデータをバックアップします。

従業員へのセキュリティ教育：従業員に対し、セキュリティに関する知識や意識を高めるための教育を行います。

インシデント対応計画の作成：サイバー攻撃が発生した場合に、迅速かつ適切に対応するための計画を作成します。

歯科医院におけるサイバーセキュリティ対策は、一朝一夕にできるものではありません。継続的に見直し、改善していくことが重要です。まずは先日お送りした「簡易版サイバーセキュリティチェックリスト」を作成して保管しておいてください。

## 第66回理事会

令和6年11月14日(木)

### 会長挨拶 (要旨)

第二次石破内閣が発足しました。先の解散総選挙の大義として「新しい内閣について国民の信を問う」と掲げていましたが、一強多弱から一転、少数与党として新たなスタートを切りました。脆弱な政権基盤にあって、国会運営のキャスティングボートを握ると国民の期待を集めた国民民主党ですが、やはり出る杭は打たれるようです。気概を欠くことなく政策論争に臨んで頂きたいと思います。

### 本日のトピックス

#### 【本会】

- ・「本会と連盟のあり方」検討委員会  
近々に答申書が提出される予定。
- ・都道府県歯科医師会専務理事連絡協議会  
会員が減少傾向にある中、医院承継は9割が決まっていないとのアンケート結果。大学病院勤務医・研修医の日歯への入会促進を検討していく。  
ベースアップ評価料の算定は各県共伸び悩んでいる。  
各医院の施設基準はホームページにも掲載する必要がある。 (南専務理事)

#### 【社会保険部】

- ・歯科保険診療学習会  
社会保険診療報酬支払基金 歯科専門役 宮原勇治先生を迎え、診療報酬の動向と審査の現状について講演していただいた。医科のエビデンスが充実しているのに対し、歯科のエビデンスが弱く、診療報酬へ反映されにくいとのことでした。 (田頭常務理事)
- ・マイナ保険証への移行に関するインフォメーションを精査の上、会員へ伝達するよう準備中。 (後藤理事)

#### 【公衆衛生部】

- ・「いい歯の日」県民公開  
内容的には良いものであったが、周知の難しさを感じている。多くの県民の方々に参加してもらえよう今後考えていきたい。 (黒木常務理事)

#### 取材を終えて

(広報部 副委員長 緑川皓明)

理事会の中で「医科のエビデンスに対して、歯科のエビデンスが弱い」という話があった。エビデンスの数なのか、影響力なのか、エビデンスレベルの話なのかはわからないが、日々臨床を行う中で臨床医がよりエビデンスを活用しやすい、報告しやすいような仕組みがあれば、国民、歯科医師にとってもメリットがあるのではないかと思った。

#### 理事雑感

(佐伯理事)

本日の理事会の中で、南専務理事よりホームページを持っている医療機関の施設基準掲載義務についてのお話がありました。今回の診療報酬改定により経過措置が設けられているものの

サイトに掲載しなければならないこととなっており、経過措置が令和7年5月31日となっています。その他、再度届出の必要な経過措置（令和7年5月31日まで）があるものとして、令和6年3月31日時点においてか強診、外来環の届出を行っている医療機関における口管強、外安全、外感染がこれに該当致します。

今一度自分の医療機関の届出忘れがないかご確認してみてもいかがでしょうか？

届出資料、掲載資料等は県歯ホームページの社会保険部にアップロードしております。

ぜひご活用ください。

## ホームページインデックス

最近掲載された項目です

- ①公衆衛生部 「岡山県糖尿病連携診療情報提供書」を作成しました
- ②厚生部文化事業部会 文化レクリエーション「ボウリング」のご案内
- ③医療管理部 「第6回DHスキルアップセミナー」開催のご案内

## マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー

# Monthly Dental News Review (244)

2024年

▶10月15日(火)

体臭アンケート 指摘されたくない  
トップは「口臭」

他人から指摘されたくない体臭のトップは「口臭」(全体割合42・7%)だった。ウミガメが全国20代〜40代の男女300人に聞いたアンケート調査で、口臭の次に「汗のにおい」や「わきのにおい」「加齢臭」などがあげられた。

また、女性の割合は「口臭」46%と男性よりも気にする割合が多かった。

この調査結果に対して、ウミガメは「コミュニケーションの中心が会話で、(口臭は)直接的に相手に影響を与えるため、特にデリケートな問題」とコメントしている。

▶10月25日(金)

院内処方歯科医療機関

7割が医薬品の入手困難

日歯調べ 院外処方も  
5割が困難

院内処方を行っている歯科医療機関の約7割、院外処方を行っている約5割が先発医薬品と後発医薬品ともに入手や処方困難な状況にある。日本歯科医師会の調査結果によるもので、19日の東海信越地区歯科医師会連絡協議会の第1分科会で情報提供があった。

（略）

院内処方での歯科医療機関では、「後発医薬品が入手困難」14・9%、「先発・後発とも入手困難」69・3%と計84・2%が困っていることがわかった。院外処方でも入手困難なのは、「後発医薬品」12・2%、「先発・後発とも」52・6%の計64・8%。

入手困難になっている医薬品は、院内処方でも院外処方でも「抗菌薬」が最多となっている。

▶10月30日(水)

口腔状態が悪い人は  
要介護・死亡リスク増

島根県歯ら研究で判明

口腔内の状態が悪いと早期の要介護認定や死亡につながる。島根県歯科医師会や島根大学、国立保健医療科学院の共同研究グループが行った島根県在住の高齢者を対象とした研究によるもので、学術誌『The Lancet Healthy Longevity』(10月17日)オンライン版で公開された。

▶11月6日(水)

皆歯科健診

6割が費用に不安

日歯が1万人の男女に調査

国民の8割が歯科健診の充実に賛成している一方で、歯科健診が全国民を対象に実施された場合(国民皆歯科健診)には、6割を超える人が費用負担に不安を抱いている。日本歯科医師会が全国の15~79歳の男女1万人を対象に実施した「歯科医療に関する一般生活者調査」によるもの。

# 11月の歯科界トピックス

11/11 体で定期的にお金をかけているメンテナンス

「口・歯」は32.6%で、「髪」49.2%に次いで2位

11/12 歯科衛生士の退職防止策調査

給与や待遇の改善53.5%, コミュニケーションの促進33.7%

11/13 第2次石破内閣

福岡厚労大臣, 阿部文科大臣, 加藤財務大臣 再任

11/14 12月2日以降の患者資格確認方法変更に伴う見直しを中医協で答申

11/15 国試の改善などの要望

歯科大・歯学部からの日歯への意見を整理

11/18 歯科衛生士の浸麻

日歯が厚労省に体制整備, 教育の見直しを要望

11/19 歯が多いと余命期間が延伸  
東北大約44,000人を調査

11/20 保険証も最長1年使用可  
12月2日以降の“資格確認”について中医協で答申

11/21 肥満で歯周病だと認知機能が低下  
広大らの研究グループが解明

11/22 社保・歯科8月診療分  
前年同月比 件数5.1%増, 点数6.2%増

11/25 「食後の歯磨き」男6.3% 女13.4%  
中高年者健康維持行動 男性で4番目, 女性で2番目

11/26 適切な財源確保要望  
国民医療を守るための総決起大会



## 第15回 社会保険部検討委員会報告

2024年10月2日(土) 16:00～ 本会会館 7F 702・703会議室

### 1. 報 告

- (1) 9月 新入会員 なし
- (2) 社会保険部小委員会 9月13日(金) 10月2日(水) 20:00 「歯科訪問診療と介護保険」の冊子作成
- (3) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会 9月25日(水) 13:30 田頭 常務理事
- (4) 個別指導 9月26日(木) 14:00
- (5) 令和6年度社会保険指導者研修会 9月27日(金) 13:00 日本教育会館  
田頭常務理事, 後藤理事, 佐伯理事, 支払基金: 松三副審査委員長, 国保連合会: 佐藤審査委員
- (6) 保険医療関係機関連絡会議 10月3日(木) 14:00 岡山県医師会館  
田頭常務理事, 後藤理事, 佐伯理事
- (7) 令和6年度 中国・四国地区歯科医会連合会社会保険分科会 10月5日(土) 14:30  
かめ福オンプレイス 田頭常務理事, 後藤理事, 佐伯理事
- (8) 社保相談窓口報告
- (9) そ の 他

### 2. 協 議

- (1) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (2) 「地区歯科医師会からの質問」について
- (3) 「歯科訪問診療と介護保険」の冊子作成について
- (4) 新入会員社保研修会について
- (5) そ の 他

#### ～検討委員の独り言～

今期初めて検討委員になった。歯の健康フェアの準備中、倉敷歯科医師会会長から「誰か検討委員会行ってくれませんか？」と大きな独り言が聞こえた。その夜の懇親会で某副会長から笑顔で手招きされた。検討委員決定である。任務指令である。首を横に振る選択肢と勇気を自分には持ち合わせていなかった。指令を受けたからには全力で任務遂行する。それが日々お世話になっている歯科医師会、先生方への義理だと思い頑張っていく所存である。

奥野 正典 (倉敷歯科医師会)

## 令和6年度 新入会員社保研修会

上記研修会が令和6年10月12日(土)、県歯会館2階もも丸ホールにて午後6時より午後8時半まで開催されました。

当日は10名の先生方が出席され、新規個別指導対策に特化したスライドおよび「社会保険診療指導必携 令和4年12月版」を使って、保険診療の基本的ルール、個別指導、カルテ記載上の留意事項、保険請求のポイント等について説明を受けられました。

その後、個別面談方式に移り、持参していただいたカルテ、レントゲン、患者提供文書、技工指示書等を担当の検討委員がチェックしながら指導と質疑応答が行われました。出席された先生方にとって疑問点の解消、新しい発見等、有意義な研修会となっていれば幸いです。

保険請求についての疑問点はもちろん、個別指導に対する不安などございましたら、地区歯科医師会の検討委員へ相談したり、県歯の社保相談窓口をご活用ください。

なお最新の内容になった「保険請求の手引 令和6年度版」は、「歯科点数表の解釈 令和6年6月版」(青本)の内容を出来るだけ分かりやすいようにまとめたもので、カルテ、摘要欄、レセプト等の記載内容も充実させたいえ、県歯注釈として点数算定の留意点、疑義解釈の決定事項等も記載しており、間違いのない保険請求を行ううえで大変役立つ内容となっています。また巻末には「施設基準」「診療録及び診療報酬明細書に使用できる略称」「摘要欄記載要領」「労災保険の取扱い」「ブリッジの適否判定と最少支台歯数による設計」も掲載しています。新入会員の先生方はもちろん、それ以外の先生方も是非ご活用ください。

(検討委員 近常 正)

学 術 部

## 日歯生涯研修セミナー

令和6年9月29日(土)午前9時より、日本歯科医師会主催による生涯研修セミナーが開催されました。「笑顔の溢れる健康長寿を目指して」をテーマに、「口腔機能管理の基本を見直す」として2演題の講演がありました。岡山県歯科医師会館もも丸ホールサテライト会場での参加者数は17名でした。

<超高齢社会における咬合再構成のための補綴診断と治療プロセス>

東京歯科大学パーシャルデンチャー補綴学講座 准教授 田坂彰規

要点としては以下に示すとおりです。

- 咬合崩壊した者の低栄養リスクは、咬合機能を維持している者に比べ3.2倍になる。
- 咬合機能の回復および維持を図ることが栄養状態を良好に保ち介護予防につながる。
- 歯の喪失などで生じる咬合崩壊に対して補綴歯科治療でアプローチする際に、固定性補綴装置あるいは可撤性補綴装置を選択するのか、移植、インプラント、矯正なども考慮する必要がある。

今回、補綴治療の終了後の歯周状態の維持を見据え、ダブルクラウンによる咬合再構成の手順と、その製作・修理においてデジタルデンティストリーが大きく寄与することを紹介していただいた。

(定兼正明)

### <義歯と嚥下で考える高齢期の口腔機能管理 2つのストラテジー>

昭和大学歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門 主任教授 古屋 純一

#### 1. なぜ日本では訪問診療が必要か？

日本の現状は、高齢者人口の割合は過去最高となり、その中で75歳以上の後期高齢者が増加しているのが本質的問題である。残念ながら、健康寿命と平均寿命との間には約10年の乖離があり、9割の高齢者は何らかの支援・介護が必要な状態で生活しているというのが挙げられる。つまり後期高齢者の増加は要介護高齢者の増加であり、義歯による治療が必要になるのも75歳以上であり、歯科医院に行けなくなるのも75歳以上で多くなる。義歯を入れられる口腔にすることや、その後の食事の指導なども重要となる。

#### 2. 訪問診療の食支援の考え方は？

訪問診療における主訴の多くは「食べられない」であるが、高齢者の「食べられない」の問題は口腔だけでなく、様々な要因によって引き起こされる。チームアプローチによる口腔ケア・食支援を行っていく時、食に関するジェネラリストとしての広い視点を持つことが必要で、同時に口腔機能のスペシャリストとしての高い視点を持つことも重要である。

#### 3. 超高齢社会の義歯と嚥下のエビデンスは？

訪問診療では「噛める」＝「食べられる」ではないことに注意が必要である。咀嚼と嚥下は歯と顎、頬と舌による統合的な運動であり、これを繰り返すことで鍛えられる。摂食嚥下に対する義歯の役割には

- 口腔と咽頭の形態の適正化
- 嚥下時の下顎固定を回復し、舌骨挙上を補助
- 食塊形成・食塊送り込みを回復
- 運動嚥下に役立つ
- 噛んで食べる楽しみの回復

である。

#### 4. 外来から始める高齢期の口腔機能管理

摂食嚥下障害に対する歯科的対応策は、外来に通院できる間により義歯を装着し、口腔機能低下症の検査と口腔機能管理を受け、舌などの摂食嚥下に必要な口腔機能を最大限に高めておくことである。外来での口腔機能低下症の対策は、将来の訪問での口腔機能障害・フレイル対策・疾病重症化予防のための「口腔機能の貯金」である。

超高齢社会の義歯の2つのストラテジーとは、

- ① 元気なうちにより入れ歯でオーラルフレイル対策
  - ② 年をとっても義歯と嚥下で食べる楽しみいつまでも
- である。

(副委員長 北原和樹)

# 令和6年度岡山県歯科医師会秋季歯科医学大会

令和6年10月27日岡山県歯科医師会館2階もも丸ホールにて、講師に徳島大学大学院医歯薬学研究部顎機能咬合再建学分野教授 松香芳三先生をお迎えし、「顎関節症・口腔顔面痛の診断と治療」題して講演していただきました。会場33名とWeb配信93名参加の下行われました。

原因不明の歯痛を訴えて来院された場合、対応を苦慮してしまうことがあります。このような場合、診断がつかないまま、抜髄など不可逆的な治療をしてしまったり、また、歯科的な原因が特定できず精神科の受診をすすめてしまうと、逆に患者さんから不信感を持たれることもありえます。左下の大臼歯の痛みを訴えた患者で、抜髄された患者は結局咀嚼筋痛からの歯痛だったため、なかなか診断がつかず治療に時間を要した症例を紹介されました。

口腔顔面痛に対して、また、歯に原因がないにもかかわらず歯痛を発現する非歯原性歯痛に対して、問診、触診し、診断できるようにすることが大切です。国際口腔顔面痛の分類および非歯原性歯痛の分類をまず知っておくことが必要で、日本口腔顔面痛学会のホームページを参照してもらいたいと紹介されました。

まず問診の大切さを言われました。痛みの部位、特性、大きさ（VAS NRS評価）、持続時間、程度、増悪因子を聞くことです。そして、口腔顔面痛の分類と診断および治療については以下のとおりです。

表1

## 非歯原性歯痛の原因

1. 筋・筋膜性歯痛
2. 神経障害性歯痛  
発作性神経障害性歯痛：三叉神経痛など  
持続性神経障害性歯痛：帯状疱疹後神経痛など
3. 神経血管性歯痛（群発頭痛、片頭痛など）
4. 上顎洞性歯痛
5. 心臓性歯痛（狭心症など）
6. 精神疾患または心理社会的要因による歯痛  
（身体表現性障害、統合失調症、大うつ病性障害など）
7. 特発性歯痛（非定型歯痛を含む）
8. その他の様々な疾患により生じる歯痛  
（悪性腫瘍、側頭動脈炎、白血病、糖尿病など）



### 1) 歯と歯槽部および解剖学的に関連する構造の障害による口腔顔面痛

う蝕、歯周病および腫瘍などの痛みで通常の歯科治療の対象である。

### 2) 筋筋膜性口腔顔面痛

咀嚼筋（咬筋、側頭筋、顎二腹筋など）とそれによる機能障害による痛みである。

筋痛から歯の痛みとの関連痛をひきおこすことがあります。

治療としては、病態説明、生活指導、スプリント、漢方薬（芍薬甘草湯）、筋弛緩薬、三環系抗うつ薬（トリプタノール）、ボトックス注射、認知行動療法などがあげられました。

### 3) 顎関節痛

触診、顎の動き、MRIで診断します。



治療は、病態説明、生活指導、NSAIDs、漢方薬（桂枝加朮附湯）、スプリント、顎関節腔注射、認知行動療法、超音波治療があります。

4) 脳神経の病変または疾患による口腔顔面痛

主として三叉神経痛によるものである。精密触覚機能検査は、保険導入もされています。治療は、血管減圧術、ガンマナイフ（放射線治療）、投薬治療（テグレトール）です。

5) 一次性頭痛の症状に類似した口腔顔面痛

頭痛と口腔顔面痛のあいだにあるタイプです。治療は、投薬治療（アセトアミノフェン・NSAIDs・Ca拮抗薬・抗てんかん薬）です。

6) 特発性口腔顔面痛

口腔灼熱痛症候群、舌痛症です。投薬は、三環系抗うつ薬があります。

7) 口腔顔面痛患者の心理社会的評価

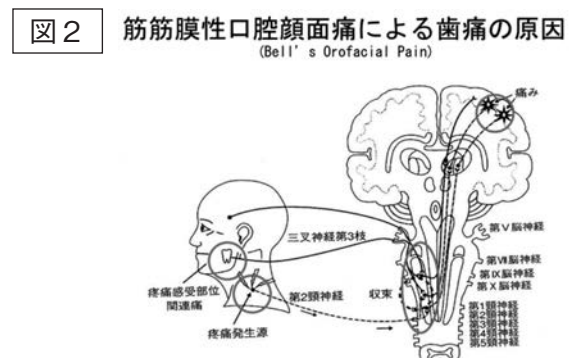
精神現象が身体症状として現れる身体化がみられることがある。患者様とトラブルにならないように精神科に紹介していくしかない。

2) 3) は顎関節症にあたります。顎関節症は、半分の患者は、何もしなくてもよくなることがわかっていて、症状が強くない場合は、経過観察も治療のオプションであることを説明されました。

さらに歯に原因がないにもかかわらず歯痛を発現する非歯原性歯痛の原疾患には、表1のように分類されます。とくに、頻度が多い筋・筋膜性歯痛の説明図を、図1、2に示します。

患者さんに対して、「おどおどしない」「おどろかない」「うそをつかない」少しでも口腔顔面痛のことを頭にいれておく。さらに困ったら専門医に相談することをすすめられました。

口腔顔面痛は、複雑な話でしたが、系統だてて、わかりやすいように、お話していただきました。今後の診療の場で役立てていきたいと思えます。



(本行 博)

**岡山県歯科医師会 口腔解剖実習 @ 岡山大学病院**  
**「沢教授の口腔解剖学ハンズオンセミナー」**  
**～しくじり先生にならないために～**

岡山大学口腔機能解剖学分野教授 沢 禎彦 先生の実習セミナーを下記の日程で開催いたします。

外科処置の際、気をつけるべき解剖、特に下歯槽神経・オトガイ神経の走行や、顎関節の構造、上顎洞の構造など、実際にご遺体にふれていただきながら、学んでいただけます。

学生の頃、体験したものとは違う視点で、臨床の擬似体験ができます。

参加ご希望の先生は同封の申込用紙にて所定の方法で、1月14日(火)までにお申込みください。

日 時：令和7年1月26日(日)

講義 10：00～12：00 実習 13：00～15：30

場 所：岡山大学病院 医歯薬融合型教育研究棟内5F及び解剖実習室  
 (岡山市北区鹿田町2丁目5-1)

対 象：岡山県歯科医師会会員 (正会員のみ)

受 講 料：10,000円 (ともしび会3,000円, その他消耗品代等含む)

※会費等引去口座から引去させていただきます。

募集人数：18名 (予定)

申込締切：1月14日(火)

**年末年始の休館のお知らせ**

**令和6年12月29日(日) ～ 令和7年1月3日(金)**

上記期間中、本会会館を休館させていただきます。

大変ご迷惑をおかけいたしますがご了承ください。

## 第88回全国学校歯科保健研究大会



令和6年10月17日(木)、出島メッセ長崎において「第88回全国学校歯科保健研究大会」が開催されました。テーマは「口腔から全身の健康づくりを目指して『健口』から『健康』へ 学校歯科保健の未来図 ～学校歯科健康診断におけるDXの可能性～」で、本会公衆衛生部から土肥が参加いたしました。

開会式・表彰式では、岡山県から「和気町立本荘にこにこ園」が日本学校歯科医会会長賞を、「赤磐市立磐梨小学校」「倉敷市立南中学校」が奨励賞を受賞しました。受賞校の皆様には心よりお祝い申し上げます。今後も子供たちの健康のために活動を継続していただければと思います。

特別講演では、長崎県出身で“ジャパネットたかた”創業者の高田明氏が「夢を持ち続けて日々精進」というテーマでご登壇されました。高田氏は「今を一生懸命生きること」や「相手にしっかり思いを伝えること」の重要性についてお話しされ、自身が通信販売業を通じて培ってきた経験を交えながら、結果を恐れず困難に直面した時でも下を向かず全力で改善し続けることで道が開けてくることを強調されていました。さらに、自分で体験して本当に対価に見合った良い商品だけを紹介し、一人でも多くのお客様に今以上に幸せになってもらいたいという思いで全国に事業展開してきたことを語られ、その情熱と行動力に参加者一同が引き込まれるすばらしい講演でした。

続いて行われたシンポジウムでは、「学校歯科健康診断の現状と課題、学校健診PHR (Personal Health Record) について」というテーマで、日本学校歯科医会常務理事の水谷成彦先生が基調講演を行い、学校歯科健診のデジタル化の可能性について、デジタルデンティストリーやAI教育の専門家を交えて議論が進められました。学校歯科健診の現状としては健診者間のキャリアレーションが十分でなく、学校間や地域間での比較が難しいことがまず大きな課題となっています。その上で、健診実施から21日以内に保護者にその結果を報告する義務があり、保護者報告用とデータ保存用の入力が必要で、データを電子化することによって養護教諭の負担が増えていることも問題視されていました。このような課題を解決するため、健診時に直接PCへ結果を入力できる方法や、IOS (Intra Oral Scanner) を活用して健診者の主観を排除する方法が検討されています。電子化された健診結果はマイナポータルを通じて保護者が確認できるだけでなく、データベース化されて制度や教育の発展につながることを期待されています。しかしながら、入力用PCやIOSを全校で導入するには莫大な費用がかかるため現実的とは言えません。まだまだ課題が山積していますが、今後の進展次第では学校歯科健診のあり方が大きく変わる可能性があります。少し未来の話かもしれませんが、方向性や情報として頭の片隅に入れておいても良いと思いました。

今回の第89回全国学校歯科保健研究大会は、令和7年10月16日に広島県で開催予定です。隣県でするので学校歯科保健に興味のある先生方は、ぜひご参加いただければと思います。

(理事 土肥範勝)

## 第48回 中国地域口腔公衆衛生協議会

令和6年10月26日(土)午後2時よりホテルグランヴィア広島において、中国地域歯科医師会連合会（当番県 広島県歯科医師会）主催の「第48回中国地域口腔公衆衛生協議会」が開催され、西岡会長、小見山副会長、黒木常務理事、土肥理事、寺地委員長、事務局田淵で出席しました。

広島県歯科医師会の上川克己専務理事の司会で、当番県の広島県歯科医師会の山崎健次会長の挨拶に始まり、広島労働局労働基準部健康安全課長の山埜典文氏、広島県健康福祉局地域共生社会推進担当部長の山縣真紀子氏、広島県教育委員会豊かな心と身体育成課課長代理の三上洋三氏まで続き、来賓の厚生労働省医政局歯科保健課歯科口腔保健推進室長の高田淳子氏、日本歯科医師会常務理事の山本秀樹氏、日本学校歯科医会会長の柘植紳平氏からの挨拶がありました。議長に広島県歯科医師会会長の山崎健次先生、副議長に次回当番県の岡山県歯科医師会会長の西岡宏樹先生が選出され、協議が始まりました。

協議に関しては、4項目とそれに関連する協議題に厚生労働省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会、各県、各県歯科医師会から回答、提言がありました。

### ① 産業歯科関連

「事業所歯科健診の実態について」（広島県歯科医師会）、関連する協議題として「保険者との歯科健診の連携について」（鳥取県歯科医師会）

監督署・労働局では、安衛法に基づく歯科健康診断を実施している事業所は把握しているが、自主的に行っている安衛法に基づかない健診の状況は把握できていない。歯科健康診断の実施率・受診率を向上するには、企業の産業医、保健師との協働が不可欠であると考えられる。

### ② 学校歯科関連

「口腔機能発達不全症の対応について」（岡山県歯科医師会）、関連する協議題として「子どもの口腔機能発達不全症についての取り組みについて」（山口県歯科医師会）

口腔機能発達不全症について疾患の特徴や対応について講演会や研修会を実施しているが、学校歯科医、学校関係者、家庭と十分な意思疎通を必要で、知識普及啓発には、まだまだ時間を要する。

### ③ 県・市町村事業関連

「妊婦歯科健診受診率向上に向けた取り組みについて」（広島県歯科医師会・広島県）

妊婦に対して歯科保健活動を行っている市町村と行っていない市町村が存在する。県歯、地区歯科医師会主導では行っていない





が、市町村行政と連携は図っている。

#### ④ 歯科医師会事業関連

「在宅歯科医療への対応について」（鳥根県歯科医師会）、関連する協議題として「訪問診療の取り組みについて」（岡山県歯科医師会）

歯科医師会主導で、地域歯科医療連携室や普及センターなど設置して在宅歯科医療を各県とも行っているが、地域ごとに在宅歯科医療の状況も異なっている為、特定の先生に偏りがあったり、すぐの対応が難しい状況もあり、対策を考えているのが現状である。

ほか、文書回答・資料提供として、16協議題があり、協議時間の都合で追加があり、「学校歯科医としての役割と責任の理解と歯科保健活動の学校格差減少の方法について」（広島県歯科医師会）、「国民皆保険の取り組みについて」（岡山県歯科医師会）について、厚生労働省、日本歯科医師会、日本学校歯科医会、から回答がありました。

以上で協議が終わり、広島県歯科医師会の熊谷宏副会長の挨拶により閉会となりました。

（委員長 寺地恭一）

## 「令和6年度 訪問歯科研修会」開催について （岡山県委託事業）

歯科訪問診療を受けている在宅や施設の療養者には、摂食嚥下障害を有している方がいらっしゃいます。ご本人や家族が摂食嚥下障害を訴えていなくても、問題を有していると感じることがあります。歯科治療時に「食べにくい」、「飲み込みにくい」ことを訴えて来られない方でも、会話の中で食事のことで困っていたら聞いてみると、診てもらいたいと言われることもあります。

今回は、私が訪問診療の中でみている症例を通して、訪問診療における摂食嚥下障害の対応についてお話しさせていただきます。

日 時：令和7年2月1日(土) 19:00～21:00

会 場：岡山県歯科医師会館 2階もも丸ホール及びZoomによるWeb配信

報 告：歯科往診サポートセンターについて

岡山県歯科医師会 土肥 範勝 理事

講 演：訪問診療×摂食嚥下 最初におさえるポイント

村田 尚道 先生（(医) 社団 湧泉会 ひまわり歯科）

詳細については同封のプログラムをご高覧ください。

◆日歯生涯研修ICカードをご持参ください。

【締め切り1月17日(金)】

## 開催案内

## 第6回DHスキルアップセミナー

- 日 時 令和7年1月19日(日) 10:00～12:00
- 場 所 岡山県歯科医師会 2階 もも丸ホール 及び Web配信
- 講 師 反橋 武 先生  
(有限会社メディカル・コミュニケーション代表取締役社長)
- 演 題 「コ・デンタルが知っておきたい1期治療のすすめ」
- 対 象 歯科衛生士・歯科医師・歯科衛生士養成校在校生

※詳細については11月号の付録をご参照ください。

## 開催案内

## 令和6年度歯科医療安全研修会

- 日 時 令和7年2月2日(日) 10:00～12:00
- 場 所 岡山県歯科医師会 2階 もも丸ホール 及び Web配信
- 講 師 白井 肇 先生  
(岡山大学病院 医療安全管理部, 感染制御部, 歯科総合歯科部門 講師)
- 演 題 「歯科医院における院内感染対策」  
～医療従事者と非医療従事者の双方の視点から～
- 対 象 会員・従業員・歯科医療関係者

※詳細については同封の付録をご参照ください。

※アーカイブ配信のURLは県歯ホームページに掲載予定 (2 / 20～3 / 31)

## 医療管理ニュース Vol.98

## 生き抜くための災害対策

昨今、さまざまな災害が頻発しています。診療中に被災して患者さんやスタッフが歯科医院で待機しなければいけない可能性があります。ライフラインが止まっても歯科医院で安心して待機できる備えをしておきましょう。

| 水の備え                                       | 食料の備え  | 排泄の備え  | 現金の備え   |
|--|--|--|---|
| 1日当たり一人3ℓを最低3日分<br>(例)6人分：2ℓのペットボトル27本分に相当 | 水と同じ最低3日分の備蓄<br>災害食の賞味期限は<br>・アルファ化米 3～5年<br>・レトルト食品 1～6年<br>・乾パン 1～5年 | ・簡易トイレ多めに用意<br>・便座に45Lゴミ袋を2枚かぶせて使用<br><u>排泄物は燃えるゴミで出す。</u> | ・1週間分程度の生活費(小銭も混ぜて2万円ほど)<br>・口座番号のメモ<br>・保険の補償の確認<br>・身分証明書 |

## 建物の耐震性

過去の震災の被害で最も多いのは、建物の耐震性がなかったための倒壊による圧死でした。自医院の建物が木造だったり、増築などを行ったりしている場合は、建物の耐震診断を受けておくと安心です。

## 什器や医療機器などの固定

棚やパソコンなど、什器類は壁や天井にしっかり固定しましょう。パソコンやモニターは耐震マットを設置すると転倒しづらくなります。

## ●実際に被災した場合

## 住宅の応急修理（災害救助法）

住宅が半壊し、自ら修理する資力のない世帯に対して、居室、台所、トイレ等日常生活に必要な最小限度の部分を応急的に修理するものです。市町村が業者に委託して実施します。修理限度額は1世帯当たり57.4万円（平成29年度基準）。

## 災害復興住宅融資（住宅金融支援機構）

災害により滅失・損傷した家屋の復旧に対し、低利な資金を供給するもの。住宅を建設する場合の融資限度額（基本融資額）1,650万円等、住宅再建方法により融資限度額、返済期間等が異なります。

## 日本歯科医師会福祉共済保険

災害共済、火災共済保険金：風水害、地震、火災などによる全焼全壊の場合、災害共済保険金800万円を支給（差引金明細書で、日歯福祉共済負担金が毎月差し引かれているかを確認することで、加入の有無を調べることができます。入会時に未加入の場合、途中からの加入はできません）。

## 岡山県歯科医師会共済制度

火災、災害見舞金：全焼全壊、半焼半壊および床上浸水などの火災・災害を対象とする給付額は上限20万円とし、幹事会の議を経て給付する。被災した場合、必ず修理前に写真を撮って岡山県歯科医師会に申請してください。



(園田伸介)

## 令和6年度 レクリエーション大会 ご案内

### ファミリースキー・スノーボードツアー

今年もウインタースポーツの季節がやってまいりました。ファミリースキー・スノーボードツアーを下記の要領で開催いたします。

行き帰りは貸し切りバスでゲームを楽しみながら、また大山では終日、スキー、ボード、雪遊びをご満喫下さい。

|     |             |                |                |
|-----|-------------|----------------|----------------|
| 日 時 | 令和7年2月9日(日) |                |                |
| 日 程 | 行き          | 7:00           | 岡山県歯科医師会館 発    |
|     |             |                | (6:40 集合)      |
|     |             | 9:40           | だいせんホワイトリゾート 着 |
| 帰 り | 16:00       | だいせんホワイトリゾート 発 |                |
|     | 18:40       | 岡山県歯科医師会館 着    |                |



場 所 だいせんホワイトリゾート  
TEL 0859-52-2315

定 員 40名

参加費 会員・家族・従業員 3,500円 (小学生以下1,000円)  
(診療報酬より引き落としさせていただきます)

\*食事、リフト代等は含まれていませんので各自ご負担下さい。

締 切 令和7年1月21日(火)  
(お申し込み受付は定員になり次第、締め切らせていただきます)

\*県北からご参加の方は途中停車をいたしますので下記までお問い合わせ下さい。  
詳細は後日、参加者にお知らせします。

お問い合わせは 担当・高木宏太 (TEL/FAX 086-238-8841) まで



.....  
浅口歯科医師会  
.....

こんなところもあるよ！ 浅口

浅口歯科医師会は、浅口市（鴨方町・金光町・寄島町）と浅口郡里庄町からなる、県南西部のこぢんまりとした支部です。以前は四町とも浅口郡でした。うちの父親（雀部一郎）が県歯に入会したころの浅口支部は、玉島・水島の一部を含む広い支部だったようです（浅口郡の構成町数が一番多かった昭和26年には、11町2村）。現在は里庄町のみですが。

さて、有名スポットというと、まず海外でも有名になり紅白出場もされた“藤井 風”さん関連でしょう。出身地である里庄町には、藤井さんのMVに登場するスポットが多々あります（藤井 風＋里庄町でググってみて下さい）。ファンの方々がそれぞれ工夫した聖地巡礼をされています。里庄町の公式ホームページにも、「里庄町出身のミュージシャン藤井 風さん情報」のコーナーがあります。特に有名なのは、定時になると藤井さんの楽曲が流れる「つばきの丘運動公園」ですね。



浅口市で有名なスポットでは、鴨方町にある国立天文台と京都大学せいめい望遠鏡に併設の「岡山天文博物館」にあるプラネタリウムは最新機器でお薦め。

プラネタリウム秋番組

「かぐや姫は未来の月からやって来た」（未来の女性科学者が現代にタイムスリップ）

プラネタリウム特別番組

「LOST ISLAND DINO-A-LIVE」（360度映像が迫

力の恐竜探検もの）

金光町大谷は、2022年公開の「とんび」ロケ地として「第13回ロケーションジャパン大賞」の一翼を担いました。

グルメは難しい（笑）

混んでるのは、「ベトコンラーメン鴨方店」とか、井からはみ出るサイズの天ぷらが乗ったうどんで有名な「手打うどん たぐち」です。里庄町の工場併設店「アウトレット・直営店 カフェサンラヴィアン」もあります（シャトレゼ的な商品構成）。

寄島町は牡蠣で有名で、日生とともに牡蠣料理を食べる料理店が何軒かあります。

矢掛・笠岡地区方面にお越しの際は、ぜひ浅口にも足をお運び下さいませ。

（モニター 雀部陽一郎）

## 倉敷歯科医師会

## 令和6年度「障がい者歯科診療トレーニング・セミナー」のご案内

第12回「障がい者歯科診療トレーニング・セミナー」を以下の内容で予定しております。開催方法は、対面開催とライブ配信といたします。あわせて後日、オンデマンド配信も行います。オンデマンド配信では、ご都合の良い時間にご自由に視聴できます。この機会にぜひご参加され、障がい者歯科診療の理解を深めていただければ幸いです。ご参加をお待ちしております。

日 時：令和7年1月26日(日) 10時00分～15時00分

## 講演内容

講 演 (午前10時～)：「地域におけるスペシャルニーズデンティストリー～島根県の場合～」

講師：吉川 浩郎先生 (吉川歯科クリニック院長)

実 習 (午後1時～)：自閉症VR体験

講師：発達障害支援アドバイザー協会

開催方法：講演会は対面開催，ライブ配信，オンデマンド配信

自閉症VR体験は対面開催のみ参加可能，先着40名まで

申し込み者には後日聴講案内をお送りいたします。

会 場：倉敷歯科医師会館3階講堂

対 象：歯科医師会会員とそのスタッフ，歯科衛生士会会員，その他障害者の支援に関わる方

オンデマンド配信期間：令和7年2月より1か月程度配信

参加費：無 料

※参加（出席あるいはオンデマンド視聴）を希望されます先生・スタッフは  
下記のQRコードからお進みください。



(締め切り：令和6年12月28日)

申込後，2日以内に確認メールが届かない場合，ご不明な点がある場合は，  
倉敷歯科医師会事務局（086-422-2122）まで連絡ください。

## 吉備歯科医師会

## 第16回吉備路お口の健康まつり

令和6年10月13日(日)午前10時より「第16回吉備路お口の健康まつり」が開催されました。今回は過去の健康まつりとは形式を変えて、一般市民向けの講習会主体として、会場も従来の「天満屋ハピータウンリブ21」から「サンロード吉備路」に変更してのリニューアルです。



今回の講師を務めていただいたのは、日本歯科大学大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学講座教授で口腔リハビリテーション多摩クリニック院長の菊谷 武先生で、「あなたの老いは舌からはじまる～オーラルフレイル対策で寝たきり予防～」という演題で講演していただきました。講演は高齢者の虫歯や歯周病の特性から

始まり、「歯を残すばかりが最善ではなく、時には長期予後を考えて健康なうちに抜いておいた方がいい歯もある」というお話を経て、「噛めなくなるのは、歯や入れ歯だけの問題ではなく、舌の機能低下の場合もある」という観点から口腔機能検査の重要性を、わかりやすくお伝えいただきました。

講演終了後には「あなたは大丈夫かな? ~口腔機能低下症~」と銘打って会員による口腔機能検査体験会も開催して、咀嚼機能検査・咬合力検査・舌圧検査・口腔乾燥検査・舌口唇運動機能検査といった



口腔機能低下症に関する検査ブースと歯科相談コーナーを設けて、来場者個々のお口の機能低下を防ぐための体操や訓練器具展示なども行いました。

行楽シーズンで好天に恵まれた3連休の中日であるにもかかわらず、会場には多くの聴講者に集まっていただき、とても盛況な健康まつりとなりました。また他支部からいらしていただいた先生方にはこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

(モニター 亀山達弘)



## 玉野歯科医師会

## 玉野市歯科医師会ランチプロジェクト

令和6年10月20日(日)“玉野ショッピングモールメルカ”に於いて、玉野市主催「元気が一番!展 & 食育展」におけるイベントの一環として玉野市歯科医師会ランチプロジェクトを行いました。玉野の歯科医院の推薦や8020運動に選ばれた6名、その他玉野市内の小学生に虫歯予防ポスターの応募を行ったところ、118名の作品が集まりました。厳選な審査により会長賞2名、歯っぴースマイル賞4名、すこやか賞6名、佳作20名を選出し、“メルカ”2階において作品の展示を行いました。同日は8020達成者と歯科ポスター受賞者の表彰式も行われました。受賞者をはじめ多くの方々が笑顔で会場まで来ていただいて、みなさんの笑顔を見ていると私たちも嬉しくなり、楽しい時間を持つことができました。会場には約300人程の来場があり、大変賑わったイベントになりました。

運営に携わってくださったスタッフや先生方に、この場を借りてお礼を申し上げます。  
ありがとうございました。

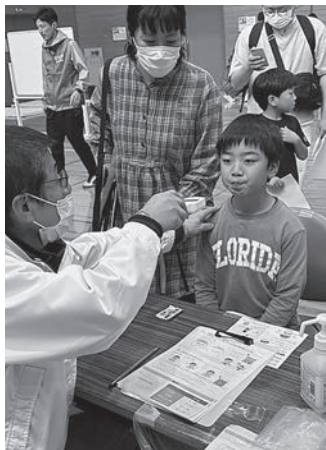
(モニター 千葉浩之)





真庭歯科医師会

# ユニバーサルスポーツフェスティバル2024

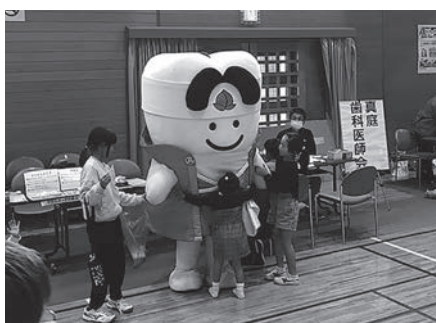
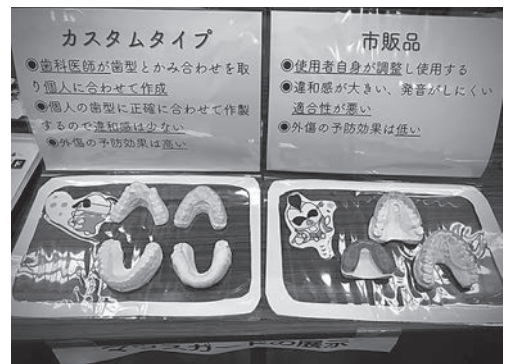


令和6年10月20日(日)、真庭市白梅総合体育館で開催された「ユニバーサルスポーツフェスティバル2024」にブース出展致しました。～ココロもカラダも健幸になろう～というスローガンの下、幼児、小学生の親子を中心に中高年まで幅広い年齢層で約450人が来場されました。

真庭歯科医師会のブースでは、スポーツマウスガードの展示、オーラルフレイルをテーマに口唇閉鎖力測定、咬合力チェック、県歯作成のパネル展示、キシリトールガムの配布を行いました。会員は、各種イベントと重なったこともあり、少数精鋭での参加となりました。

スポーツマウスガードの展示では、素材、形、適合性の違いなどがわかりやすいように既製品とカスタムメイドのものを用意し、パネルやリーフレットも用いて外傷の予防効果などについて説明しました。スポーツをしている人が多く来場していたため、模型上のものを実際に手に取り、熱心に質問される方もおられました。

口唇閉鎖力測定では、骨格ががっちりした高齢の女性の方がいて、数値がとても高く測定方法を間違っているのではないかと思うほどで、大変印象的でした。一方、幼児や小学生では、数値が低い子が半分位と、年齢や性別の区切りではなく、個々への対応の重要性を感じました。測定後には、ブローボールと吹き戻しの体験を行い、保護者からは懐しむ声が多くあり、親子で楽しく取り組んでもらうことが出来ました。



咬合力チェックでは、以前は噛んだガムの色を目視して判定するだけでしたが、アプリで咬合力を数値化できるものへ変更して今回取り組みました。しかし、QRコードの読み込み、噛み終わったガムを写真に撮って取り込み、測定終了まで一人につき約10分と時間がかかり、対応に苦慮してしまいました。「時間や人員に余裕があれば良い判断材料になるのではないか」と思いました。

そして、今年も、“もも丸”に扮した会長が、ユニバーサルスポーツの種目のターゲットボッチャやブラインドサッカーに挑戦しました。“もも丸”は大人気で子どもたちが取り囲み、会場が大変賑やかに盛り上がりました。

ブースへの来場者は昨年より少なかったのですが、その分私たちもゆったり楽しく取り組むことが出来ました。今回はスポーツイベントへの参加ですが、オーラルフレイルについては、4月18日の「よい歯の日」と11月8日の「いい歯の日」に地域情報紙への啓発広告にて周知活動も行っています。

今後のランチプロジェクトにおいても、地域の方々へわかりやすく寄り添った取り組みとなるよう、会員みんなで協力して活動していきたいと思っています。

(村上ちはる)



## 児島歯科医師会

# お口の健康フェア2024 歯ッピータウン in 児島

児島歯科医師会では11月17日(日)、天満屋ハッピータウン児島店1Fフローラルコートにて、ランチプロジェクト「お口の健康フェア2024 歯ッピータウン in 児島」を開催しました。今回で通算17回目となります。コロナ流行のため2020年、2021年



は中止を余儀なくされましたが、2022年からは、口腔検診・検査・フッ素塗布など感染リスクの高いと思われる行為を控え、検温やアルコール消毒を準備してイベントを実施してきました。今もなお、感染症流行は終息したとは言えない状況であり、今年も同様の対策を講じたうえでの開催となりました。

今回のブースは「お口の相談」「ふしぎ!光で固まる歯のつめもの」「歯°ズル競争」「バルーンアート」のほか、岡山県歯科衛生士会の方々による「オーラルフレイル」「おやつゲーム」「あなたに合った歯ブラシを!」「家族で楽しむパネルシアター」、児島地区愛育委員会の方々による「検診を受けよう!肺がん・子宮頸がん」、児島地区栄養改善協議会の方々による「ベジもぐってなぁに?」「お弁当コンクール」と盛りだくさんとなりました。

当日は地域住民の方々を中心に約350名の来場があり、恒例の福引コーナーからも賑やかな歓声があがっていました。お立ち寄りいただいた方々には、イベントを楽しみながら歯科・口腔領域の健康について関心を持っていただける良い機会になったと思います。また、会員にとっても児島歯科医師会の団結力を再確認した有意義な一日となりました。



今後も開催時期の状況に応じて、臨機応変に内容を検討しながら啓発活動を続けていくことが大切だと感じました。企画・準備から開催当日まで、休日返上でご尽力いただいた方々、大変お疲れ様でした。感謝申し上げます。

(モニター 滝下幸夫)



## 弾幕薄いぞ!何やってる!(今回は宇宙世紀作品のみについて述べる。)

倉敷歯科医師会 西木戸 博史

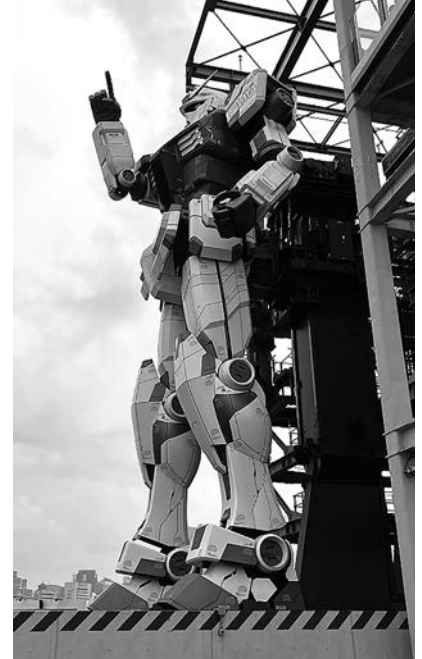
2024年現在、僕の生活の大半はガンダムに支配されている。ガンダムのTV放送開始が僕の生まれ年の翌年である1979年なので、今年にはガンダム45周年の記念すべき年。ボンボンにはガンダム関連の漫画も掲載されていたが、コロコロ派だった僕はそれほどガンダムに触れることなく幼少期を過ごした。ガンダムに触れる機会といえば、SDガンダムのカードダスを集めるぐらいだった。

1993年、中学3年生の時にTV放送された機動戦士Vガンダムからガンダムの沼に足を踏み入れた。そこから過去作を見返すようになり、TVアニメだけでなく劇場版やOVAも一通り見終わって、それぞれの作品の時代背景やキャラ、メカなどの設定を深く追求するようになった。当初はメカよりもキャラやストーリーの方に感情移入していた。キャラでは特に報われない(または不運な)やつが好きだ。逆襲のシャアのギユネイは、クェスに相手にされず、シャアに嫉妬したままアムロにやられてしまうのがなんか可哀想で、好き。なのでヤクト・ドーガも好き。Zガンダムのヘンケン艦長も好き。エマさんへの想いがようやく成就しそうになったけど、最期にエマさんのMk-IIをかばってラーディッシュごと撃沈される所なんか好き。Vガンダムのオデロも好き。最後まで生き残って欲しかったが、最後の最後でカテジナさんに撃墜されて戦死した時は涙したものだ。ガンダムUCのマリーダさんも好き。プルトゥエルブ・悲しい。好き。だからクシャトリヤも好き。

ガンプラを初めて作ったのは大学に入ってからで、MGスーパーガンダムだった。現在はHGに絞って制作している。そこから徐々にモビルスーツ(MS)をもっと知りたくなり、開発の歴史や系統図などをよく調べた。また、映像化した作品の裏側のストーリーや、作品と作品の間を繋ぐストーリーが気になり始め、サイドストーリーや外伝物の漫画を読み漁ったりゲームをしたりした。漫画やゲームでしか登場しないMSもたくさんあり、それを立体化したガンプラは特に好物で、今一番のお気に入り。原作が小説のADVANCE OF Zに登場するティターンズ製MS。こんなMSがグリプス戦役時に本当にあったなら、エウゴに勝てたんじゃないかと思ってしまう。

大人になって多少の財力が備わってからはガンプラをどんどん購入している。コロナ禍以降は店頭でガンプラを購入することが難しくなり、通信販売を中心に購入。買うかどうか迷っている間に完売してしまうため、欲しいと思ったら即購入している。完成した機体は自院にインテリアとして飾っているので、患者さんとの話のネタになり、プラモの展示会に誘ってもらった。参加しているサッカーチームにもガンダム好きな人がいて、ガンプラの話に花を咲かせることもある。世界がどんどん広がる。人との繋がりもどんどん広がる。歯科以外の人とも繋がることできる。これがガンダムなのよね。

観たことがない人はまずガンダムUCから観るのがオススメ。ファーストを観ていなくても宇宙世紀の世界に入りやすいし、ストーリーもキャラもメカも全て良い。音楽も凄く良い。劇伴はもちろん良いし、主題歌も毎話良い。Aimerと出会えたのもUCのおかげ。感謝しかないね。とにかくどの作品からでもいいので観てほしい。シャクティも言ってたでしょ、「観て下さい」って。



次回は 今村 幸弘 先生(岡山市歯科医師会)をご紹介します。

## 岡山県立岡山南支援学校の実習報告



10月10日(木)、3年生は岡山市南区内尾にある岡山県立岡山南支援学校で実習を行いました。支援学校にはそれぞれ特色があるようですが、南支援学校は主に知的障害や重度の発達障害、自閉症の小学校1年生の児童から高校3年生の生徒までが在籍しています。

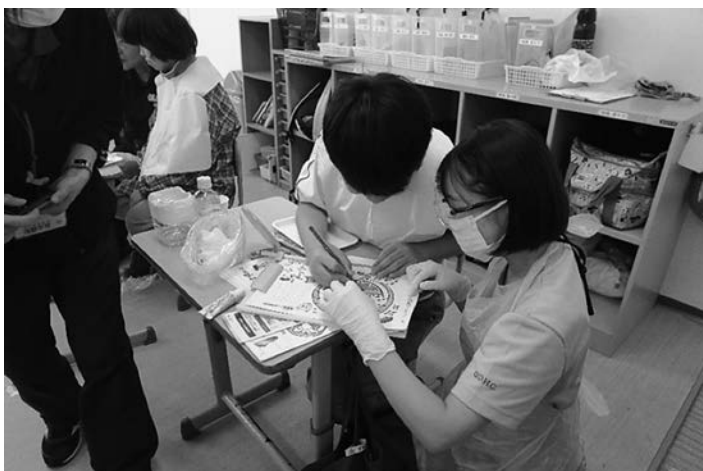
学院の実習に協力してくださるのは中学校1年生から3年生の生徒です。

9月5日の事前講義では、教頭先生や担当の先生から学校の活動内容や生徒の特長などについて講義を受けました。その後、担当する生徒のクラスで授業を見学し、それぞれの生徒の様子を観察しました。最初はどう接してよいのかわからずただ立っているだけだったのが、少しずつ距離を縮め仲良くなって会話をしていた学生もいました。担任の先生方にも生徒の理解力や特性などを確認し、この日に得た情報を生かして、障害の程度や特性に配慮しながら、ブラッシング



指導の内容や人形劇のキャラクター、セリフなどに工夫を凝らして本番に向けて準備をしていきました。

当日は、各グループで最終打ち合わせをした後、それぞれの教室に分かれて今までの成果を披露しました。各ステップをクリアできたら花が咲く、あるいは逆に終わったステップを取り除くというような進捗状況を視覚的に分かりやすくする工夫も見られました。キャラクターも生徒になじみのある分かりやすいものを使っており反応も上々でした。ブ





ラッシング指導に使う冊子も長く使えるようにラミネートされており、写真やキャラクターのイラストを上手に使って作られていました。「生徒も喜んでいるし後々の指導で役立って、毎年助かっている」と先生方にも好評のようでした。染め出しについては、意味や方法が十分に伝えられておらず上手にできなかった昨年の反省を生かして、事前に学生たちが前でデモをしたり、口の形をしたホワイトボードに色を塗って歯ブラシの形をしたものでこすって色を消すといった遊びを体験させたりして、伝えようとする工夫が見られました。



終了後の反省会では、良かった点として、メダルや表彰状のように頑張ったらほめてもらえる、ご褒美が貰えるという仕組み、あるいはクイズや「あいうべ体操」など参加型の内容などが挙がっていました。染め出しも多くの生徒ができたようで、昨年の反省が生かされていました。学生は説明資料を作成する際に何を参考にするのか、様々な飲料・食品に含まれている砂糖の量を「角砂糖〇〇個分」という表現を使っていましたが、昭和生まれの世代にはわかっても、果たして今頃の若者、ましてや子供は角砂糖なんて見たことあるのかなあ……。来年はブラッシュアップしてこの辺りは改善されていることでしょうか。世の中にはいろいろな人が関わりあ

って生きています。この実習を通して、歯科衛生士としてだけでなく一人の人間として、多様性を受け入れることができる、また、助けが必要な人には自然に手を差し伸べられる感性がはぐくまれることを期待してやみません。最後にこの場を借りて、貴重な経験の場を学生たちに提供してくださった岡山南支援学校の方々に感謝申し上げます。



(副学院長 山本道代)

## 令和6年度学院同窓会総会



去る、10月27日(日)10時より岡山県歯科医師会館にて「令和6年度学院同窓会総会」を開催致しました。当日は子どもを含む29名が参加。第1期生から51期生までの実に50歳もの年齢差の集いになりました。

総会と合わせて今年度は

健康をテーマに整体師の先生をお招きし、歯科衛生士の職業病でもある「首肩腰のコリ痛み」について、講話と実技指導を受けました。若いからと言って身体が柔らかい訳でもなく、80代の先輩方の方が足も良く上がったりと・・・大笑いの楽しいひと時を過ごすことができました。

木村学院長のご配慮で7階の会議室が会場となり、岡山城・後楽園の眺望を望みながら、念願の真新しい新会館の母校で親睦ができ、皆さん感無量で帰路に着きました。

私ども学院同窓会は、卒業生をもって構成し3,000名に迫りつつありますが、女性ゆえ卒業後に結婚等で姓名が変わったり住所が変わったりと、音信不通になる卒業生の方もたくさんいます。現在第1期生～第64期生の各期に責任者を設け、そこから同級生に同窓会のご案内を発信していますが、連絡が途絶えた方々にはお知らせの方法がありません。何とか掘り起こしをしたいと考えておりますが、個人情報などもあり進みません。しかし急速なデジタル化により学院同窓会のライン・インスタグラム・フェイスブックのSNSツールを立ち上げました。先生方の職場やお知り合いに学院の卒業生はいらっしゃいませんか？もしいらっしゃいましたら、ここに掲載の二次元コードにて是非ご紹介ください。

母校が同じという学院同窓会は、先輩後輩の世代を超えての縦の繋がりと、同級生の横の繋がりを大切にしてきました。今後とも会員相互の親睦を目的に、定期的な学院同窓会総会を開催して参りたいと思います。



ご紹介お待ちしております!!

岡山高等歯科衛生専門学院同窓会 会長 平賀悦子

新入会の正会員の先生を紹介するコーナー

新人です…よろしくお願ひします。

あまみや いちのしん  
雨宮 一之進



倉敷歯科医師会  
あまみや医科歯科クリニック  
〒712-8032 倉敷市北畝4-17-12  
TEL 086-456-2233 FAX 086-456-2030  
生年月日 昭和62年 4月14日 (37歳)  
出身大学 鶴見大学歯学部

経歴・職歴  
2018年 3月 鶴見大学歯学部 卒業  
4月 鶴見大学歯学部附属病院 臨床研修  
2019年 5月 医療法人忠和会ひらた歯科クリニック 勤務  
2020年 5月 倉敷医療生協 勤務  
2024年10月 あまみや医科歯科クリニック 開院  
現在に至る

入会日 令和6年10月3日

趣味 マリンスポーツ

抱負 私が歯科医師を目指した理由として、生まれ育った地元に貢献したいという思いがあります。新人として至らぬ点もあるかと思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

会 員 異 動

10月末日現在 正会員数1,038名

◎新入会員 (詳細は新入会員の紹介で)

雨宮 一之進 正会員 倉敷 P29

◎診療所の移転・名称変更

高本 淳一 正会員 岡山市 P15  
[新] 医療法人社団カムカム ひらじま歯科医院  
〒709-0631 岡山市東区東平島927-1  
TEL 086-206-7878 FAX 086-206-5801

(P = 会員名簿のページ)

## 12月の収納金

### 1. 本 会

- (1) 診療報酬割会費（社保、国保9月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{28}{1000}$ を控除）  
 (2) 共済事業部会新共済費（後期） 15,000円

### 2. 全国歯科医師国保組合

- (1) 収入割、均等割保険料調定額  
 (2) 収入割保険料（令和5年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

### 3. 日本歯科医師会

- (1) 年金保険料（1月分）  
 (2) 福祉共済保険料（1月分）

## 10月 会の動き

|    |   |     |  |
|----|---|-----|--|
| 1日 | 警察歯科医会小委員会  | 10日 | 令和6年度岡山県学校保健会第2回理事会<br>及び表彰審査会   |
| 2日 | 広報部編集委員会（集稿）<br>社会保険部小委員会<br>国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合<br>第4回三役会          |     | 健康推進課と面会<br>理事会<br>BCP打合せ  |
| 3日 | 令和6年10月 保険医療関係機関連絡会議<br>県民公開講座打合せ<br>理事会                            | 11日 | 第5回DHベーシックコース事前打合せ   |
| 5日 | 令和6年度 中国・四国地区歯科医会連合会<br>役員連絡協議会他                                    | 12日 | 令和6年度岡山県警察歯科医会研修会<br>審査・検討小委員会<br>社会保険部検討委員会<br>新入会員社保研修会<br>岡山市難聴者協会バザー（～13日） |
| 6日 | 中国・四国地区歯科医学大会<br>学院 指定校推薦入試   | 15日 | 令和6年度独立行政法人日本スポーツ振興<br>センター災害共済給付事業運営協議会<br>公衆衛生部正・副委員長会                       |
| 7日 | 第25回交通大学<br>「本会と連盟のあり方」検討委員会  | 16日 | 医療管理部正・副委員長会<br>国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合<br>コンプライアンス研修会、健康づくり推<br>進部会（Web）          |
| 8日 | 総務部調査事業部会委員会・情報管理部会<br>（Web）  | 17日 | 第88回 全国学校歯科保健研究大会  |
| 9日 | 8020推進財団理事会<br>令和6年度岡山県四師会懇談会<br>国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合<br>第5回常務会（Web） |     |  |



|     |  |     |  |
|-----|--|-----|--|
|     | 医科歯科連携 打合せ (Web)<br>理事会<br>常務理事会<br>広報部編集委員会 (二校)          | 25日 | 中国地方社会保険医療協議会岡山部会<br>広報部編集委員会 (終校)   |
| 20日 | 第5回DHベーシックコース<br>日歯 令和6年度災害歯科保健医療体制研修<br>会 (Web)           | 26日 | 第48回中国地域歯科医師会連合会口腔公衆<br>衛生協議会<br>中国地域歯科医療管理学会第2回役員会<br>令和6年度秋季歯科医学大会講師打合せ        |
| 21日 | 支払基金 審査運営協議会   | 27日 | 令和6年度中国地域歯科医療管理学会総会・<br>学術大会<br>令和6年度秋季歯科医学大会                                    |
| 22日 | 学術部正・副委員長会 (Web)<br>岡山県歯科保健優良校審査会 (一次)<br>学院 第1回学院関係者評価委員会 | 30日 | 令和6年度岡山県愛育委員連合会リーダ<br>ー研修会<br>社会保険部小委員会  |
| 23日 | 令和6年度 岡山県食の安全・食育推進協議<br>会<br>国保組合 全国歯科医師国民健康保険組合<br>第3回理事会 | 31日 | 岡山県保健医療部 疾病感染症対策課と面会<br>常務理事会<br>理事会<br>BCP打合せ<br>岡山県歯科保健優良校審査会 (二次)<br>国保組合 理事会 |
| 24日 | 障害者歯科診療打合せ<br>理事会<br>「日歯会長予備選挙」選挙人抽選会                      |     |  |

## 12月・1月 本会の予定

|        |   |     |   |
|--------|---|-----|---|
| 12月 1日 | 第7回 岡山県がん診療連携協議会歯<br>科部門会   | 9日  | 2024年度 岡山大学歯学部教授会忘年<br>会  |
| 2日     | 第57回 岡山県がん診療連携協議会<br>(Web)<br>広報部編集委員会 (集稿)                             | 11日 | 広報部編集委員会 (初校)<br>玉島歯科医師会「救急蘇生講習会」<br>選挙管理委員会                          |
| 3日     | 公益財団法人岡山県スポーツ協会加盟<br>競技団体交流会  | 12日 | 理事会   |
| 4日     | 日本歯科医師会 第4回医療管理委員<br>会<br>岡山市歯科医師会忘年会<br>国保組合 全国歯科医師国民健康保険<br>組合 第6回三役会 | 14日 | 岡山県歯科保健優良校等表彰式<br>審査・検討小委員会<br>社会保険部検討委員会<br>地区・本会連絡協議会<br>学院 一般入試A日程 |
| 5日     | 理事会   | 16日 | 支払基金 審査運営協議会  |
| 7日     | 大阪歯科大学歯学部同窓会岡山県同窓<br>会社保講習会   | 18日 | 広報部編集委員会 (二校)<br>医療管理部正・副委員長会   |
| 8日     | 令和6年度災害歯科保健医療アドバン<br>ス研修会   | 19日 | 理事会   |
|        |   | 20日 | 第1回 岡山県医療費適正化推進協議<br>会  |

|                                 |      |                                     |
|---------------------------------|------|-------------------------------------|
| 令和6年度第1回岡山県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会   | 1月7日 | 広報部編集委員会（集稿）                        |
| 22日 日歯 生涯研修セミナー サテライト           | 9日   | 理事会                                 |
| 23日 令和6年度第1回岡山産業保健総合支援センター運営協議会 | 16日  | 理事会                                 |
| 令和6年度岡山県循環器病対策推進協議会             |      | 広報部編集委員会（初校）                        |
| 広報部編集委員会（終校）                    | 22日  | 広報部編集委員会（二校）                        |
| 25日 中国地方社会保険医療協議会岡山部会           | 23日  | 理事会                                 |
| 26日 理事会                         |      | 祝賀会                                 |
| 第197回 臨時代議員会                    | 24日  | 広報部編集委員会（終校）                        |
| 29日 事務局年末・年始休業（～1月3日）           | 25日  | 令和6年度第2回中国・四国地区歯科医師会連合会会長・日歯代議員合同会議 |
|                                 | 30日  | 理事会                                 |

## 12月・1月 地区歯科医師会の予定

|                      |                           |
|----------------------|---------------------------|
| 12月4日 岡山市 忘年会        | 1月6日 岡山市 四役会              |
| 5日 岡山市 四役会           | 8日 玉野市 理事会                |
| 津山 定例会               | 9日 津山 定例会、新年互礼会           |
| 赤磐 社保講習会             | 10日 岡山市 理事会               |
| 6日 倉敷 倉敷市内歯科医師会協議会   | 児島 理事会                    |
| 8日 岡山市 技工学院第三次入試     | 玉島 理事会                    |
| 9日 岡山市 理事会           | 11日 児島 新年会                |
| 10日 児島 理事会           | 18日 玉野市 臨時総会・新年会          |
| 真庭 忘年理事会             | 瀬戸内市 新年会                  |
| 11日 津山 理事会忘年会        | 赤磐 新年会                    |
| 玉島 救急蘇生研習会           | 吉備 新年会                    |
| 玉野市 移動理事会            | 19日 岡山市 技工学院第四次入試         |
| 13日 玉島 理事会           | 23日 倉敷 障がい者歯科コンサルテーション    |
| 都窪 理事会               | ョン                        |
| 15日 倉敷 令和6年度スタッフセミナー | 24日 岡山市 理事会               |
| 吉備 ボウリング愛好会例会・忘年会    | 25日 真庭 新年例会               |
| 19日 勝英 定例会           | 26日 倉敷 障がい者歯科診療トレーニングセミナー |
| 20日 岡山市 理事会          | 高梁 プランチプロジェクト             |
| 倉敷 定例理事会             | 28日 津山 理事会                |
| 21日 都窪 忘年会           | 30日 倉敷 女性会員親睦会            |
| 吉備 移動理事会・忘年会         | 31日 倉敷 定例理事会              |
|                      | 都窪 理事会                    |

## \* はこちら編集室 \*

## 「つづく」

吉 和英 今年もおかやまマラソンに出場した。5回目になる。「今まで走れたから走れるだろう」とたかをくくり、暑さを理由にして7、8月はほとんど練習しなかった。走り始めたのはお彼岸を過ぎてからだった。完全に体力が落ちていて、練習も満足にできなかった状態で本番を迎えてしまった。スピードが上がらぬまま中間点を過ぎたところで足が止まってしまい、「練習量は嘘をつかない」という事を身にしみて感じた。それでも何とかゴールしたが、ワースト記録を大幅に更新してしまった。疲れた体で帰宅しながら「もうやめよう」と思ったが、一晩休んで「このままでは終われない」と考え直した。

来年につづく。

## ■協賛 中国歯科用品商協同組合岡山県支部

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| (有) 飯 田 歯 科 商 店   | (有) イ ワ サ キ 歯 材   |
| (同) オ プ テ イ       | (有) 吉 川 歯 科 商 店   |
| (有) 三 和 歯 科 材 料   | (有) 志 茂 歯 科 材 料 店 |
| (株) ト ミ ヤ 岡山支店    | ナカヤマデンタルオフィス      |
| (株) 三 宅 歯 科 商 店   | 三 宅 歯 科 商 店 東 店   |
| (株) リ ン ケ ー ジ 藤 波 |                   |

# あなたの暮らしをまるごと守る



© JAPAN-DA

保険のことならおまかせください

## 株式会社ジャパン保険 岡山

〒700-0913 岡山市北区大供 1-2-10 損保ジャパン岡山ビル 5階

Tel : 086-231-2840

<https://www.sj-jho.co.jp/>

(引受保険会社：損害保険ジャパン株式会社)

タマキは診療現場における最新の商品や

情報のご提供を通して歯科医療のご発展に貢献いたします。

お客様のご満足をタマキの最大の願いです。

### 株式会社玉井歯科商店

松山店 〒790-0011 松山市千舟町 8-67-8  
TEL 089(941)1619 FAX 089(921)4344

高松店 〒760-0073 高松市栗林町 3-4-1  
TEL 087(831)4491 FAX 087(833)9222

徳島店 〒770-0006 徳島市北矢三町 2-2-8  
TEL 088(633)6250 FAX 088(633)6307

下関店 〒751-0875 下関市秋根本町 1-5-33  
TEL 083(256)0330 FAX 083(256)0880

徳山店 〒745-0071 周南市岐山通 2-21  
TEL 0834(21)0400 FAX 0834(32)4346

広島店 〒734-0014 広島市南区宇品西 3-1-14  
TEL 082(251)1911 FAX 082(251)1922

福山店 〒720-0805 福山市御門町 2-4-37  
TEL 084(923)5867 FAX 084(923)5874

岡山店 〒700-0925 岡山市北区大元上町 12-19  
TEL 086(244)3429 FAX 086(244)3489

松江店 〒690-0015 松江市上乃木 3-17-47  
TEL 0852(27)1916 FAX 0852(27)1972

鳥取営業所 〒680-0864 鳥取市吉成 239-3  
TEL 0857(22)2701 FAX 0857(22)2731

<http://www.tamadent.com>



福岡歯科大学

# 専願S 特待生制度

6年間の学納金  
**1,380万円**

通常学納金**2,630万円**より**1,250万円**の免除

免除額内訳: 入学金 **50万円** 免除 + 授業料 **毎年200万円** 免除

対象の入学者選抜

- 一般選抜A・B日程
- 大学入学共通テスト利用選抜1・2・3期

選考人数  
約**20**名

## 令和7年度入学者選抜日程

令和6年(2024年)

**11.30** 土

- ▶ 総合型選抜1期
- ▶ 学校推薦型選抜

令和7年(2025年)

**2.3** 月

- ▶ 一般選抜A日程
- ▶ 大学入学共通テスト利用選抜1期

地方会場 | 大阪試験場

令和7年(2025年)

**3.5** 水

- ▶ 一般選抜B日程
- ▶ 大学入学共通テスト利用選抜2期

令和7年(2025年)

**3.20** 木祝

- ▶ 総合型選抜2期
- ▶ 大学入学共通テスト利用選抜3期

学士等編入学選抜  
(2年次編入)

第1回 令和6年 11月30日 土

第2回 令和7年 3月20日 木祝



学校法人 福岡学園

**福岡歯科大学**

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

福岡歯科大学 学務課入試係

**TEL.092-801-1885**

**FAX.092-801-0427**

2025年夏、  
新キャンパス  
完成予定!



資料請求はコチラ



令和6年12月1日発行(毎月1回1日発行)  
昭和42年4月3日 第三種郵便物認可

岡歯会報

12月号

通巻第九三五号

定価一〇〇円

発行人 西岡 宏樹

発行所

岡山市北区石関町一丁目五番五号  
一般社団法人 岡山歯科医師会 (購読料は年会費に含まれる)

